

JCSだより



1・2月合併号
2017年

シドニー日本クラブ(JCS)は、オーストラリアに住む日本人および日系人家族の親睦を図り、オーストラリア社会の一員として日本文化の定着とその維持に努め、また他の諸民族の人たちとの相互理解の向上を図ります。

PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 Phone 0421-776-052 Email jcs@japanclubofsydney.org



2017年新年のご挨拶

シドニー総領事/JCS名誉会長 竹若敬三・JCS会長 水越有史郎

お知らせ

- ② クリーンアップ・オーストラリア3月5日(日)レーンコーブパークに集合
- ⑤ コミュニティーネット「落語家「立川こしら」シドニー公演 2月19日(日)開催」
- [イベント案内]チャリティーイベント／東日本大震災復興支援イベント
- [イベント案内]小菅優ピアノリサイタル

活動報告

- ⑥ 親睦の会だより「12月例会『日本の祭り』参加報告と2月例会『新年会』の案内」
- ⑨ Matsuri Japan Festival 2016大盛況！
- ⑦ [クラブライフ]シドニーソーラン踊り隊「今年も元気いっぱい踊ります」

日本語学校

- JCS日本語学校の活動報告 シティ校⑩／ダンダス校⑪／エッジクリフ校⑫
- ⑬ 教育支援委員会より「日本語学校合同教員研修会を開催④」

コラム

- ③ 昭和のスターたち／外食日記 ⑦
- 江戸めがね●東京で伝統芸能を見る⑭
- 声と、笑顔と、音楽と ⑮
- ② オーストラリアで家建てよう ⑯
- ⑤ キラリと光る●ホジュキンソン恭子⑰
- ⑧ あの頃のシドニー●2000年 ⑱
- ⑫ 科学の小箱／私、ハマってます ⑳
- 健康レシピ● ㉑
- ⑬ 仏教語からきた日本語／法律Q&A ㉒
- 暮らしの医療●骨粗鬆症と関節炎 ㉓

アートシーン

- ⑨ [建築]世界モダン建築巡礼 最終回 ⑲
- ⑦ [美術]Let's アート ㉒
- [映画]Fantastic Beasts & Where to Find Them ㉑
- [書籍]時間のルール ㉑
- [音楽]Nobody but me ㉑
- ⑬ [鑑賞]ツナグ ㉑

表紙の絵	②	今月の喜怒哀楽	⑳	役員一覧	㉒
理事会から	④	編集から	②	会員特典	㉑
編集後記	㉑	読者から	②	入会・広告案内	㉑

Jan-Feb 2017

編集から

投稿原稿募集!

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「探し物」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

読者から

読者の声募集!

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多に役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

投稿先は、Email: hbma@optusnet.com.au まで。
※内容や文字数など、編集上の決まりによって、要約したり、場合によっては掲載を見合わせる場合があります。

クリーン・アップ・オーストラリア レーンコーブ・ナショナル・パークに集まろう!



クリーン・アップ・オーストラリアが3月5日(日)に行なわれます。この日は、オーストラリア全国一斉に公園や浜辺をきれいにする日で、オーストラリア最大のボランティア活動です。公園を散歩がてら、周りのゴミを拾ってみませんか。年に一度のイベントは誰もが気軽に参加できます。この機会に是非会員の皆さんのご協力をお願いします。今回もシドニー日本人会の皆さんと一緒に参加することになりました。ゴミを拾った後に、BBQをしたり、お弁当持参でピクニックを楽しもうと思います。ごぞってご参加ください。BBQは有料(会員15ドル)です。

日時:3月5日(日)9:00~11:00(BBQは11:00~予定)

場所:レーンコーブ・ナショナル・パーク

用意するもの:手袋、帽子、日焼け止め、サングラス等
(BBQに参加されない方は各自の食べ物・飲み物)

※通常、公園内は車の場合入場料が必要ですが、入り口でJapan Club of Sydneyの会員として、クリーン・アップ・オーストラリアに参加する旨をお伝えいただければ無料になります。

尚、JCS以外の団体や、その他の地域で独自にクリーン・アップ・オーストラリアにご参加なさりたい方は、サイトをご参照ください。 www.cleanup.com.au

本誌のカラー版は、電子版をダウンロードしてお楽しみください。

www.japanclubofsydney.org



■表紙の絵

皆さん、初めまして。2017年の本誌の表紙の絵を担当させていただきますHikaruです。本誌が白黒印刷なので、水墨画風の絵を描きたいと思いました。私はインクで絵を描くのも好きです。今回は、墨、インク、水彩を使用しました。2017年は、酉年!鳥で私が思い出すのは、幼い頃に飼っていた鶏のピコのことです。兄が夏祭りの縁日で釣り揚げたヒヨコが成長し鶏になりました!(^-^)ピコは、鶏になっても可愛い腫で家族の人気者でした。猫が入ってきて、追い払うようなたくましい鶏でもありました。Emailにてご意見承ります。hikaru.sato88@gmail.com(Hikaru)

【作者プロフィール】中学の時に大阪府主催絵画展で優秀賞受賞。高校では全国ポスターコンクールに入選。日本の某社製品企画課テキストスタイル部に所属し、千趣会、生協、百貨店、量販店にて、自社や、コシノ・ジュンコ、ハローキティ製品の作成に携わる。1994年シドニーに永住。National Art School、Julian Ashton Art Schoolに通いオーストラリアで絵画を学ぶ。

JCS行事予定

月	会全体	親睦の会	コミュニティーネット	City校	Dundas校	Edgecliff校
2月	理事会(1日) 本誌発行(1月25日)	新年会(11日)	落語公演(19日) シニアのおしゃべり サロン(22日)	始業式・節分・保護 者会(4日) ひな祭り(25日)	始業式・節分・保護者 会(4日)避難訓練(11 日)、ひな祭り(25日)	始業式・節分・保護者 会(4日)避難訓練(11 日)、ひな祭り(25日)
3月	理事会(1日) クリーンアップ(5日) 本誌発行(6日)	東日本大震災復興 支援イベントに参加 (11日)		年次総会(4日) 合同教員研修会(18 日)	こいのぼり手形取り (11日)、合同教員研 修会(18日)	ロックダウン(11日)、 合同教員研修会(18 日)

2017年新年のご挨拶



シドニー日本クラブ名誉会長
在シドニー日本国総領事 竹若 敬三

JCS会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年10月末に在シドニー日本国総領事として着任して以来、在留邦人の皆様には大変お世話になっています。深く御礼を申し上げるとともに、新年にあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

昨年は、日豪友好協力基本条約の40周年を迎え、この機会にNSW州は音楽、芸術、教育を含む様々な分野で長年日豪文化に貢献されている方々が総領事表彰や外務大臣表彰を受賞されました。1983年にシドニー日本クラブを創設し初代会長としてシドニーの日本人コミュニティの発展に貢献された保坂佳秀氏も総領事館表彰を授与されております。

日本の各地に外国人教員を派遣するJETプログラムは30周年を迎え、これを記念したネットワーキングイベントがシドニーでも開催されました。オーストラリアでの日本語学習者数、日本語教育機関数及び日本語教師数は大きく増加し、アニメや漫画、日本食といった日本文化も高い人気を誇っています。また、スポーツ面では、11月に日本武道代表団がシドニーを訪問し、オリンピックパークで開催された日本武道演武大会には2,000人以上の方々が来られ、若い方々やお子様も参加されていました。

NSW州の在留邦人の数は3万人を超えています。12月10日に開催された「Matsuri Japan Festival」は、JCS皆様の献身的なご協力のおかげで、約3万人の方々が参加される大盛況でした。在留邦人の皆様とともに、いろいろなコミュニティの方々にもお楽しみいただきました。

私は「現場に足を運びたい」と考えており、できるだけ多くの会合や式典に参加して、各地で多くの方々とお目にかかることを楽しみにしております。11月には北部準州ダーウィン市、バサースト市、カウラ市を訪問しました。これらの訪問を機に日豪の強い絆とともに、平和の発信、両国の若い層の交流、日本に対する期待や信頼感を感じました。

日豪通商協定60周年となる本年は、1月早々に安倍総理大臣をシドニーにお迎えすることができました。日豪関係とともに、在留邦人の皆様にとっても大きな励みになったと考えます。総理のご訪問を踏まえ、両国間の交流をさらに深めていきたい所存です。

在シドニー日本国総領事館としては、在留邦人の皆様の安心・安全を第一に考え、精一杯尽力する所存です。また、皆様からのご意見は丁寧にお伺いし、気軽にご相談いただける親しみやすい総領事館にしたいと考えておりますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様の更なるご発展とご健勝を心より祈念し、私の新年の挨拶とさせていただきます。



シドニー日本クラブ会長
水越有史郎

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。今年も毎日を元気に過ごされることを願っています。

2017年はシドニー日本クラブが設立されてから34年。そして5月から35年目を迎えます。日本から遠く離れたここシドニーで、日本人同士がお互いに協力し合い、親睦を深めて異郷の地での充実した生活を行っていくことを目的に日本クラブが設立されました。それから30余年が過ぎ、オーストラリアはもちろん、日本も、そして私たちの暮らしも、シドニーのコミュニティーも大きく変化を遂げてきました。

この間、日本クラブでは、親睦の会やコミュニティーネットによる高齢者向けの活動をはじめ、日本語学校を運営して継承日本語教育の大切さを二世、三世の子どもたちへ伝えていきます。

コミュニティーネットでは昨年、「命のビザ」で知られる日本の外交官、杉原千畝の半生を描いた「決断 命のビザ」の一人芝居と千畝レボレーションの杉原哲也氏のトークイベントを開催し、ユダヤ人を含む多くの観客が観劇されて、大きな感動を与えることができました。

また、会の大事な目的のひとつでもあるチャリティー活動ではレインボープロジェクトが2011年から東日本大震災の支援活動を続けてきましたが、今年も3月に震災復興支援イベントを行います。さらに、2月には日本人ピアニストのコンサートを開催するなど、多彩な活動を展開しています。

そのほか日本クラブでは、地元のオーストラリア人に日本の文化を知ってもらおうと、以前から日本の盆踊りやお祭りを催してきました。Darling HarbourでのMatsuriは、日本政府関係機関や日系三団体の協力により、すっかりシドニーの日系コミュニティー最大のイベントとして定着しています。2015年から始めた日本クラブ主催のChatswoodでの祭りは今年が3回目となります。多くのオーストラリア人に喜ばれる内容を提供したいと思っています。もちろん、シドニーソーラン踊り隊や、ソフトボール部などのクラブ活動も展開していきます。

このような活動が認められ、シドニー日本クラブではこれまでに外務大臣表彰や総領事表彰を受賞しました。このことはシドニー最大の日系コミュニティー団体として、会員相互の親睦団体から、オーストラリア社会に根を下ろすエスニックコミュニティーとして、さらに活動を展開する励みとなります。そのためにも会員の皆様のご協力が欠かせません。皆さんが積極的に会に働きかけて頂くことで、楽しい会を作っていきたいと思っております。

今年も、あせらず、怒らず、くよくよせずに、楽しく、笑って、頑張りすぎない毎日でありますように。

12月の 理事会から

日時: 12月7日(水)19時~22時 場所: Dougherty Community Centre, Chatswood
 出席: 水越有史郎、水野亮三、Chalker和子、平野由紀子、林さゆり、藤田結花、多田将祐、
 Joannesえみ、Costello久恵、川上正和、Teng円香、渡部重信
 欠席: 八重樫領事、Fraser悦子、Kujundzija里美 (以上敬称略、順不同)

1) JCS忘年会(11月27日)総括と収支報告

会場の担当者が急に変わるなどのハプニングがあったものの、ジョアネス理事の万全の準備の甲斐あって、参加者全員が楽しめる良い忘年会となった。ラッフル売上のお陰で収支は、1,100ドル余りの黒字となった。2017年度の忘年会の日程、日系団体として合同で行うかについても討議を行った。

2) Matsuri Japan Festival

チラシも出来、ボランティアは80人を超え準備万端。JCSの担当ブース(浴衣販売、お茶、生け花、折り紙、習字、将棋)での理事、親睦の会、学校からのボランティア保護者の担当・時間等を最終確認。集合時間、持ち物等についても確認。

3) 学校からの報告(各学校)

■City校:138名、104家族、10クラス

11月5日の教員研修会では、授業研究、問題行動への対応策について討議、全クラスのホリデー中の宿題を見て頂く。12日、来年2学期から学校運営に関わる係を決定。19日、TC会議・クラス編成を行った。来年のクラス数は、10クラス。一番上のクラスの生徒募集を行う。12月10日の開校初の卒業式を日系メディアに取材してもらい、12年生までが通学していることをアピール。19日、八重樫領事が来校し、在外選挙人登録を行った。10日は、卒業式、終業式を予定。午後のダーリングハーバーの祭りには、きりしま組の生徒がダンスを披露。委員は祭りのお手伝いをする。現在、保護者向けのアンケートを作成中。

11月30日に校長より男子トイレのドアの破損が報告され、JCS関係者が壊したことを確信。12月3日水越会長と梶原が学校に謝罪に行った。ニック校長からは、現地校で対応する(工事費含む)ので大丈夫との寛大なお言葉を頂いた。シティ校としては来年一学期にファンレイジングを企画して現地校に感謝の意を示したいと考えている。

■Dundas校:104名、76家族、9クラス

オープンデーが終了し、21名の入学が決定。19日にTC会議を行い、来年は高学年に1クラス増設して10クラスに。クラス増設に伴うシラバスの若干の変更と、教科書やドリルを先生方と確認し近日中に発注する。来年度の椋山女学園大の実習生受け入れについて確認し、今年同様2週間でお願ひすることに決定した。26日、八重樫領事が来校し、在外選挙人登録を行った。29日、水越会長と現地校を訪問し、来年度の借用校契約更新を行った。4学期最終週にお楽しみ会を行う。

各クラスで歌や劇、踊りなど準備中。終業式では、年間皆勤賞とミニスタードアワード受賞生徒の報告、今年で卒業の生徒に卒業証書を授与する。保護者向けの年末アンケートを作成中。

■Edgecliff校:16名、15家族、2クラス

オープンデーも終わり、新年度の入学者17名の受け入れのため、クラス編成を行った。2クラスはこれまで通りだが、1クラスを幼児部として新入学児のクラスとし、もう1クラスはこれまでの2クラスの子どもの合同クラスにする。なお、幼児部クラスはシティ校の村田めぐみ先生が担当。新年度の新しいクラス運営にはボランティアやアシスタントが必要となるので、エッジクリフ校に転向予定のクリバー陽子先生に幼児部のアシスタントに入ってもらい、また保護者のボランティアを確保して運営にあたるが、さらに学生やワーキングホリデーのボランティアを募集中。12月10日のお楽しみ会に向けて、保護者の方が準備に動いてくれている。エッジクリフ校は生徒数が少ないものの、保護者の協力がうまくいっている。

4)「決断・命のビザ」公演(12月5日)

理事会欠席のフレイザー理事より、「成功裏に終えることができた。手伝いをして下さった皆さん、有難うございました」とのメッセージが報告された。

5)「JCSだより」発送料について

理事全員に確認をし、理事の全会一致で決定済み。2017年3月号より、郵送・手数料(\$10)を納付の会員にのみ会報の送付を続ける。

6)チャリティー映画上映への後援について

熊本地震被災を受けたチャリティー映画上映(2017年1月)企画に対して後援依頼があった。開催日時が迫っているが、告知期間もなく対応できない。

7)その他

○広島原爆の語り部の講演会企画

ウェブ会議の方法につき、プリントが配られ説明があった。今後の話の展開次第で対応する。

8)会員数

総世帯数:318世帯

なお、理事会終了後、理事による忘年会が同会場にて行われた。

※次回の理事会は、2017年2月1日(水)午後7時より、於:Dougherty Community Centre



「決断・命のビザ」大成功！

12月5日、NIDAの劇場にてコミュニティネット主催の杉原千畝の半生を描いた「決断 命のビザ」の公演が開催されました。水澤心吾氏の一人芝居と千畝レボレーションの杉原哲也氏のトークイベントに日本人やたくさんのユダヤ人を含む大勢の観客が観劇し、皆に大きな感動を与えることができました。このイベントはJCS役員をはじめ多くの方々にご協力いただいたおかげで実現に至りました。この場を借りまして、皆様に心より感謝の気持ちを表したいと思います。どうもありがとうございました。(コミュニティネット一同)

落語家「立川こしら」オーストラリアツアー シドニー公演 2月19日(日)2時～3時

落語界だけでなく、様々な分野にチャレンジする「落語界の異端児!？」立川こしらさんのシドニー公演です。今回はシドニーだけでなく、ブリスベンとメルボルンでも公演があります。お子さんからお年寄りまで様々な年齢層を対象に、人気上昇中！大いに笑いましょう♪

*このイベントはアビリティリンク(Ability Link)の援助により、障がいを持つ方々とそのケアをされている方には下記の配慮がされています。コミュニティネットでは2つのケアラーグループ、ジャパニーズケアラーグループと日本語療育グループのメンバーの方を対象に(ご家族一名)無料招待をさせていただきます。ケアラーの皆さんは入場無料です。(家族で一人のみ)

お子さんのためのレスパイトルームを準備し、レスパイトワーカーが会場に派遣される予定です。会場内の車椅子移動は可能です。障がい者用駐車スペースはありませんので、路上駐車になりますが、乗降時のサポートあり。

日時:2月19日(日)2pm-3pm

会場:St. Augustine's Anglican Church, Neutral Bay(75 Shellcove Road, Neutral Bay)

参加費:一般20ドル(当日参加可)

申込先:サイトより受け付けております。(Community Net JCSjcscommunitynet@gmail.com)

アングリケア・ディサービス「シニアのおしゃべりサロン」 次回は、2月22日(水)

ロンガヴィルの閑静な住宅街にある、65歳以上の日系の方を対象とした「シニアのためのサロン」です。チャットウッドからの送迎バスがあります。

なお、参加ご希望の方は1800-200-422へおかけになり、「Anglicare Services LonguevilleのSocial Club」に参加されたい旨をお伝えになり、事前の登録をお済ませください。「Japanese please!」と言うと日本語通訳へもつなげてもらえます。また、ウェブサイトwww.myagedcare.gov.auでの登録も可能です。人数に制限がありますので、継続参加が可能な方歓迎です。(事前申し込み必須)

開催日:2月22日(毎月第4水曜日開催) 時間:午前10:30～午後2:30

会場:アングリケア・デイセンター(ロンガヴィル) Christina & Arabella St の角、Longueville 2066

無料送迎バス:MOSAIC前(12 Brown Street, Chatswood) 午前10時出発(時間厳守)

参加費:\$15(和食弁当、お茶菓子含む)

活動内容:歌、タイチ、アート、古典文学、川柳、アート等

申込先:jcscommunitynet@gmail.com(京子まで)

親睦の会 だより

皆さんの地区幹事

- ・A地区 (North Sydney以南) 加藤真理 (Tel: 8957-6620)
Email: marikato777@gmail.com
- ・B地区 (Chatswood以东) 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com
- ・C地区 (St. Ives以北) 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com

親睦の会役員

会長: 林さゆり、副会長・会計: リヒター幸子、幹事: 朝比奈富美子、加藤真理、事務局: 斎藤直子
ボランティア: 竹内美佐子、橋本克子、村田智富子 (五十音順)

【会員募集】 シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。現在の会員数約90名。JCS会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ピジター也大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

【2017年新年会のお知らせ】

謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年もみなさまが健康で元気に毎日を過ごせますよう賑々しくお祝いをしたいと思えます。竹若敬三在シドニー日本国総領事もご臨席くださいます。ゲームやラッフル抽選会で大いに盛り上がりましょう。

■日時: 2016年2月11日(土) 12:15~14:30

■会場: The Dougherty Community Centre
(7 Victor Street, Chatswood)

出席または欠席の場合も、2月6日(月)迄に、地区幹事までご連絡をお願いします。

(各地区の連絡先は、このページの冒頭をご参照ください。)

■服装: お正月らしい装い

■会費: 会員\$5、非会員\$7 (ワイン・日本酒・お茶・コーヒー・紅茶代込)

■お食事: お正月に因んだお膳。(レストランでいただく60ドル以上相当)

■お食事代: 会員\$30、非会員\$40

※差額は、親睦の会の会員への「お年玉」として親睦の会が負担します。

※特別注文のお料理ですので、2月8日以降のキャンセルは、全額お支払いいただくこととなりますので、ご了承下さいますようお願いいたします。

【お知らせ】

■3月例会は、3月11日(土)の東日本大震災復興支援イベントに参加します。

■会場: The Dougherty Community Centre
(7 Victor Street, Chatswood)

開始は、午後2時からです。

詳細は、JCSだより3月号でお知らせいたします。



【Matsuri Japan Festival 2016に参加】

2016年12月10日(土) 午前11時~午後8時、ダーリング・ハーバー内のタンバロン・パークで盛大に執り行われた「日本の祭り」で、JCS親睦の会では、浴衣の販売、着付けをしました。JCS事務局長の藤田結花さんのご主人をはじめボランティアの方にもお手伝いいただき、日本が大好きなオージーに沢山販売することが出来ました。

浴衣を着せてもらって、片言の日本語で「ありがとう!」と嬉しそうに歩いていく姿を見ると、疲れも飛んでいきました。

役員のみなさん長時間お疲れ様でございました。

(写真は、左から、斎藤直子事務局、林さゆり会長、加藤真理幹事、リヒター幸子副会長)



今年も元気いっぱい踊ります

12月10日の祭りでは定番の「南中ソーラン」と新しい曲の「アジアの海賊」をしっかりと踊りました。新装なったタンバロパークで、豪華ステージと大型スクリーンも用意され、メンバーも気分良く踊ることができました。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと今年も元気に踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎です！お気軽に練習にご参加ください。

①Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray)

毎週土曜日2時～3時

②シドニー市内では初心者の若者中心に練習しています。

毎週水曜日6時45分～8時

参加ご希望の方は、高尾 実(携帯:0434-711-925または、Email:jcs.soran@gmail.com)までご連絡ください。

<http://sydneySORAN.wix.com/dancetroupe>



連載コラム



巨人・大鵬・卵焼き

平成より、昭和を長く生きていらっしゃる方たちには、説明いりませんよね(若い方も聞いたことがあるかと思えます)。ちなみに、巨人軍が日本シリーズ9連覇したのが、1965年(昭和40年)から1973年(昭和48年)。大鵬が横綱になったのが、1961年(昭和36年)から1971年(昭和46年)。

その後、こんなものもありました。大人(特に男性)が好きなもの「大洋・柏戸・水割り」、嫌われるものの代名詞「江川・ピーマン・北の湖」、辛抱する人の代表「おしん・家康・隆の里」。

あなたは、わかりましたか？(ぴか)

外食日記



Kisuke Japanese Restaurant

住所 2/56-58 Frenchs Road, Willoughby

電話 (02) 9967-8878

営業 11:30-14:00、18:00-22:00 火曜定休

価格帯 \$30～

雰囲気 7

サービス 8

料理 9

開店当初から何人もの友達に勧められていましたが、中々機会に恵まれず、2016年の年末に漸くキスケに行くことができました。料理は寿司、刺身が美味しいとの前評判通りで、新鮮で豊富な魚介類は他の店では類を見ないほどです。特に創作寿司盛り合わせが素晴らしかったです。それぞれのネタにあわせたたれや塩などの味付けで、一貫ずつ全く飽きることなく味わいました。時々酢飯が崩れるほどどっぷり醤油に寿司をつけて食べている人を見かけますが、この繊細な味を知ってほしいものです。他につくねや大根の煮物を注文しましたが、どれも美味で料理の盛り付けが美しく、上品さが際立っていました。隣の席では熱した小さな四角い石がテーブルに運ばれ、賑やかに和牛と野菜の石焼を楽しんでいました。店内はこじんまりしていますが、清潔感のある明るい雰囲気、通りに面したバルコニー席は風通しが良く、ランチや夏の夜には最適です。

WSO チャリティイベント

World Scholarship Organizationのチャリティー活動を行うためのファンレイジングを、音楽団体とバレエ学校と共に行います。

日時:3月12日(日)11:00~14:00(途中30分休憩)

会場:Castle Cove Public School

(Kendall Road, Castle Cove)

※小学校の講堂をお借りし、約300名の収容人数となります。Chatswoodの駅からバスもあり、車で約10分の便利なところに学校はあります。学校の中とその周辺に駐車スペースがあります。

出演: シドニー さくら 合唱団、Sydney City Ballet School、Japan Jazz Band Association、Kids Cheers、QPハニー、ズキバイオリン学校(未定)、相撲(未定)、和太鼓(未定)

募金活動:寄附としての入場料は一人10ドル(事前の寄付としての入場券販売を実施予定)

講堂の周辺に、お弁当、綿菓子、トウモロコシ、和菓子、ケーキ類、ソフトドリンク等の販売及び金魚釣り、ヨーヨー釣り等の募金活動を行います。



2017年東日本大震災復興支援イベント

2011年3月11日の東日本大震災発生から7年目を迎える今年も、ここシドニーにて復興支援イベントを開催いたします。

被災地に今一度つながり、復興の現状課題に取り組む機会になればと考えています。また、東北地方の素晴らしい魅力を紹介する企画も満載です。入場は無料です、ふるってご参加下さい。

2017年東日本大震災復興支援イベント - TSU-NA-GU -

日時:3月11日(土)午後2時~6時

場所:Dougherty Center, 7 Victor Street, Chatswood
入場無料

- ★朗読の会「声」による福島の詩朗読とピアノ演奏
- ★東北大学生とレインボープロジェクトOBによる被災地プレゼンテーション
- ★福島県の最新ミニドキュメンタリー(MARCH 南相馬市小学校マーチングバンド再結成の物語)英語字幕
- ★シドニー時間4時46分、1分間の黙祷
- ★日本食普及親善大使の出倉秀男氏による東北地方郷土料理(最後に試食)と工芸物産品の紹介。
- ★東北地酒テイasting
- ★東北郷土玩具の遊びコーナー

問い合わせ:sydneyrainbows@gmail.com

主催:JCSレインボープロジェクト <http://jcsrainbow.com/>

協賛:Japanese Functions of Sydney、朗読の会「声」、ふくしま会、Art Lab、東京マート、Ren Club

*当日は寄付箱を設置いたします。経費を除く収益金は毎年8月に被災学生を保養招待するレインボーステイプロジェクトの本事業へ寄付されます。

*スケジュールは予告なしに変更になる場合があります。

2017年東日本大震災復興支援イベント ~ TSU-NA-GU ~

<p>1分間の黙祷 シドニー時間 4時46分より</p>	<p>福島の詩朗読と ピアノ演奏 朗読の会「声」</p>	<p>被災地プレゼン テーション 東北大学生と レインボープロ ジェクトOB</p>	<p>MARCH ミニドキュメンタリー映画上映 福島県南相馬市小学校マーチ ングバンド再結成の物語 英語字幕</p>		
	<p>福島伝統工芸品 白河だるま 紹介プレゼン テーション</p>	<p>東北郷土玩具 遊びコーナー</p>	<p>伝統工芸物産品 の展示、販売</p>		<p>日本食普及親善 大使:出倉秀男氏 による東北地方 郷土料理 (試食あり)</p>
		<p>東北地酒 テイasting</p>	<p>入場 無料</p>		

Matsuri Japan Festival 2016大盛況！

2016年12月10日(土)にDarling Harbourで開催された、恒例の日本の祭り(Matsuri Japan Festivalに改称)は、過去最高の3万人の人出で大盛況でした。会場は改修された新Tumbalong Parkで、ステージや大型スクリーンなどが設置されてこれまでにないお祭りとなりました。シドニー日本クラブもブースを出展して、浴衣の販売や金魚すくいを行ない、また、祭りのワークショップを担当して、お茶や生花、折り紙のアシストをしました。祭り本部も担当し、インフォメーション案内や拾得物の管理、救急スタッフなど、役員や会員が祭りの成功に向けて朝早くから夜遅くまで、運営に携わってくれました。



JCS日本語学校シティ校 JCS Japanese School

- 学校: Ultimo Public School
(Cnr Quarry & Wattle Streets, Ultimo NSW 2007)
- 連絡先: PO Box 902, Glebe NSW 2037 電話: 0407-461-618
- 授業: 毎週土曜日 / 幼児部: 9:30~12:10、小学部: 9:30~12:15
- Email: jcs-jpschcity@hotmail.com
- http://cityschool.japanclubofsydney.org/



あけましておめでとうございます。

皆様、2017年をどのように迎えられているのでしょうか？シティ校は、新入生37名と共に2月4日に始業式を迎えます。昨年12月は、1999年の開校来初の卒業式を行い、12年生だった2名の生徒が卒業をしました。卒業した2名の生徒は、4、5歳の時から日本語学校に通い続け卒業しました。是非、引き続き日本語環境を持ちつつ頑張っていたいただきたいと思います。この卒業式によって在校生や保護者の皆様には、日本語学校でのゴールが明確になったのではないのでしょうか。また卒業式での卒業生の言葉「現地校より楽しく、1週間の中で唯一の楽しみだった」「学校に通うことが時々疲れたこともあったが、行きたいくないと思ったことは一度もなかった」と、とても印象に残る言葉の裏には、多大なる保護者と教員のサポートがあります。教員は、常に生徒のことを一番に考え生徒にあった指導、取り組みを行ってくださっています。生徒の皆さんが楽しく日本語を学ぶ環境作りを全教員が一生懸命してくださっていることに大変感謝しております。教員、保護者、運営委員が一丸となり、生徒にとって一番よい形を考えて引き続き運営していきたいと思えます。

幼児部は、集団行動に慣れさせながら絵本や紙芝居、歌やクラフトなどに取り組み、運筆力もしっかり身につけさせて日本語を楽しく習得しています。休み時間には、お友達や教員、アシスタント、ボランティアと元気一杯、思いっきり遊んでいます。小学部は、読む、聞く、話す、書くの4技能をしっかり取り入れた授業を行っていますが、生徒の多くは、得意分野と不得意分野がありますが、教員は上手く調和を図りながら授業をしています。教員は、生徒一人一人を見て授業の進行をしています。シティ校では3学期にスピーチコンテストや運動会を開催しています。スピーチコンテストでは、教科書の学びとは違った角度からの学びですが、生徒達の日本語力の向上がとても感じられます。自分で考え書面にし人前で発表する。またお友達の発表を聞いて共感したり感心したりしているようです。運動会はお勉強とは離れますが、日本の運動会のように開催しており盛り上がっていますね。今年も盛り上がることでしょう。是非、保護者の皆さまもお子様の日本語教育に目を向けていただくと共に学校運営に関わっていただき、一緒にお子様の未

来を築いていけたらと思っております。

日本語学校に通っている生徒の皆さんのほとんどは日本のバックグラウンドをお持ちです。昔は子ども達を「ハーフ」と呼んでいましたが、今は「ダブル」と呼ぶようになりました。子ども達は、日本とオーストラリアのそれぞれの文化に関わりながら生活していますが、1カ国だけでなく2カ国で倍の素晴らしい経験を持つことができることから「ダブル」と言っておりますが、とても素晴らしいことですね。子ども達は、既に世界に羽ばたく第一歩を歩んでおり、今後、世界を背負っていきますが、自分の意見を堂々と述べて活躍していく基盤作りの一環に日本語学校がお手伝いできたら良いと願っております。



八重樫領事、水越会長、渡部副会長とシティ校運営委員(昨年のJCS忘年会で)

毎年、コミュニティースクールに通う生徒の中からミニスターズアワード賞(州教育大臣賞)が選ばれます。とても名誉ある賞ですが、2015年、2016年度と2年連続で当校の生徒が受賞しました。260校、3万3,000人の中から選ばれる10名のひとりに選抜されました。受賞式典では立派に日本語でスピーチをし、日本代表を務めました。簡単に取れる賞ではないだけに学校としてもとても誇りに感じています。今年も是非シティ校の生徒が受賞するとよいですね。

JCS日本語学校は、土曜日の約3時間、年間36回、年間108時間の授業を行っておりますが、これだけでは日本語は上達しません。習い事は保護者の方のご協力なしにはとても難しいです。一歩外に出ると英語環境です。日本語環境は保護者の皆様が頑張ってお作りくださらないとありません。少しの時間でも構いませんので、是非お子様との時間を作っていただき、お子様の日本に関する興味を引き出していただけたら、お子様の日本語力ももっと伸びると思います。お家でのサポートをよろしく願いいたします。

本年も教員と共に運営委員一同、頑張ってお参ります。引き続きどうぞよろしく願いいたします。

JCS日本語学校シティ校代表 コステロ久恵

JCS日本語学校ダundas校 JCS Japanese School Dundas

- 学校: Dundas Public School
(85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)
- 連絡先: 電話: 0411-734-819
- 授業: 毎週土曜日/9:30~12:15
- Email: jcs-jpschdundas@live.com
- http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html



ダundas校のお楽しみ会

新しい一年が始まりました。皆様はどのように夏休みを過ごされていますでしょうか？日本語学習に関しては日本に帰国して現地小学校へ短期通学して日本語の習得に一段と弾みをつけた生徒さんもいらっしゃることでしょう。

さて、ダundas校では、昨年12月10日、一年のまとめとして毎年恒例のお楽しみ会が開かれました。この日のために先生方は随分前から知恵を絞り、子供達は一緒に考え抜いた出し物の練習に励みました。保護者の方も映像の編集や衣装の用意、当日はお手伝いに入っていたりしてみんなで作り上げたお楽しみ会でした。毎年、子供の成長に喜び、ほっこりと心が温かくなり、ポロリと涙が溢れるお楽しみ会、それでは、各クラスの出し物の紹介です。

一番手は太陽組です。最年少クラスで初めてのお楽しみ会でしたが、子供達は堂々と「あいうえおの歌」を発表してくれました。次のそよ風組はみんな黒の衣装で忍者になり「忍者合言葉(反対言葉)」を一人一人言った後、ステージに入場しました。その後は「歩いて帰ろう」の歌に合わせ黄色と赤のプラカードを使ったラインダンスを披露してくれました。流れ星組は「ぼく、わたしの自分絵本」と歌の発表をしました。生徒一人一人が自己紹介をし、上手に描いた絵と簡単な説明で、誰かから見た自分を大きな声で発表してくれました。兄弟、両親に限らず、宇宙人から見た自

分など、ユーモアたっぷりの発表もあり、思わず微笑みながら、会場中が和やかな雰囲気につつまれました。虹組は虹にちなんでの「にじの歌」を手話と一緒に、カーン大きな声で歌ってくれました。バックスクリーンには、生徒たちが歌詞からイメージした素敵な絵が流れていて、みんなの思いが伝わってくる感動のフィナーレでした。青空組はスクリーン映像を交えながら、子供達一人一人の発表があり、その後は派手な衣装に身を包まれた子供たちのオリジナリティー溢れるダンスでした。

休憩を挟んだ後の第二部は、浴衣姿で登場の天の川組による「365日の紙飛行機」の歌でした。自分たちで作ったオリジナル飛行機の発表とともに、最後は本物の紙飛行機を飛ばしてのフィナーレでした。続いては朝日組による「干支の発表」でした。自分が生まれた干支のお面をかぶり、その干支の性格的な特徴を上手に説明してくれました。最年長の若葉組は、五七五で綴られたオリジナル俳句を扇子に書き留めて発表してくれました。お笑い要素たっぷりの俳句もあり、観客も思わず笑い出して大いに盛り上がりました。そして最後を締めくくるとは大地組によるダンスの発表でした。いろいろな曲に合わせて踊るお兄さんやお姉さんを興味津々で見ている子供達、得意分野でのダンス、かっこよかったです！

お楽しみ会後には、ダundas校での初の卒業式を行いました。参列していた先生方、在校生、保護者の皆さんからのどよめきと尊敬の喜びをかみしめての卒業式でした。ダundas校も無事に9年目を迎えることができました。生徒数も年々増え、今年からもう1クラス(大河組)増えます。これも地域の皆様、JCSをサポートしてくださってる方々、先生方、保護者の皆様のおかげです。昨年同様、ご支援、ご協力を受け賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



そよ風組の「歩いて帰ろう」のラインダンス(上)
虹組の「にじの歌」(右)



JCS日本語学校エッジクリフ校
JCS Japanese School Edgecliff



- 学校: Ascham School
(188 New South Head Road, Edgecliff NSW 2027)
- 連絡先: 電話: 0412-283-393
- 授業: 毎週土曜日 / 14:00~16:35
- Email: jcs.edgecliff@gmail.com
- http://edgecliff.japanclubofsydney.org

新学期が始まります

2016年12月10日(土)に、授業を1時限行なった後は終業式とお楽しみ会を行ない、2016年度の学期が無事終了しました。新学期の始まる2017年2月4日(土)までは長い夏休みに入り、子どもたちはかなりの量の宿題を手にして、帰って行きました。

2年目を迎えるエッジクリフ校は、新しく幼児部と小学部の2クラス体制で運営して行きます。新入学児

童は15名と、生徒数が倍増になりました。

また、これまでふたご座クラスの担任をされていた堀本麻琴先生が長期休職されることになり、新年度からはシティ校の村田めぐみ先生が幼児クラスを担当することになりました。小学部の川嶋先生とお二人でエッジクリフ校2クラスをお願いすることになります。

幼児部クラスでは、まだまだ学校での集団活動に慣れない小さな子どもたちですので、保護者やボランティアの協力を得て、クラス運営をしていくことになります。エッジクリフ校も次第に、シティ校やダンス校同様に、クラス運営やクラス編成が課題になってくるようです。毎年、新入生の1クラスが増える形で学校の規模が大きくなってほしいと願っています。

小菅優 Yu Kosuge

ピアノリサイタル in Sydney 2017

たぐいまれなる才能が評価され、ヨーロッパやアメリカ、日本等で今最も注目を浴びる日本人ピアニストによるシドニーでのピアノリサイタル開催決定!

ニューヨーク・カーネギーホール、ザルツブルグ音楽祭、東京・サントリーホール等のビッグステージを次々と大成功に修めた天才ピアニストの公演をお見逃しなく!

2013年度 文部科学大臣 新人賞
アメリカ・ワシントン賞
第8回 ホテルオークラ音楽賞
第17回 出光音楽賞
第13回 新日鉄音楽賞



小菅優ピアノリサイタル・豪州デビューツアー2017

9歳の時から世界の有名オーケストラと共演 するなど輝かしい経歴を持つ、天才ピアニストが日本から来豪。国内外の多数賞も獲得し、今最も注目されている小菅優が、オーストラリアの3都市でコンサートを開催します。

■シドニー公演

日時: 2017年2月21日(火) 7pm~9pm(開場6:30~)

会場: Verbrugghen Hall, Sydney Conservatorium of Music

ホームページ⇒ jcsrainbow.com/yukosuge/

チケット料金: \$40/\$30(全席指定)

オンラインチケット⇒ yukosuge.eventbrite.com.au

お問合せ: sydneyrainbows@gmail.com

主催: JCSレインボープロジェクト

協賛: 国際交流基金シドニー

後援: 在シドニー日本国総領事館

～ JCS教育支援委員会より～ 日本語学校合同教員研修会を開催

2016年8月27日の日本語学校合同教員研修会の内容紹介を続けよう。講師は阿部圭志氏。

今回の内容は、いよいよ「3. 単元の組み立て方(講義)」。

まずは、「1目標は個々の学校あるいは教員が決める」。生徒にできるようにしてほしいことは何? 時間的に無理な指導計画を立てないことも大切。そして2に進む前に、「1.5この時点でアセスメントの内容をほぼ決めるのが阿部流」だそう。どこが外せないか、どこを飛ばせるか、授業のペースアップ、ダウンの判断ができる。(マラソンをイメージしてみよう。長い距離を走るの、どのあたりでペースを上げるとか落とすとかというのを考えておかなければいけないだろう。) そして、「2&3教材、学習活動の選定は学校あるいは教員の自由」。教材の選択肢は無制限だ。国語の教科書、日本語教育用教材、YouTube動画、記事(新聞、雑誌、ネットを含む)などなど。これらの過程を経て、そして「4授業」へ。

講義編の後には、「4. 単元の組み立て方(実践編1)」。実践例では、広島、長崎原爆がトピック。

まずは、「1観る、読む、話すを通して原爆投下の正当性に対する自分の意見をまとめて、書く」。広島、長崎への原爆投下は正しかった? 仕方なかった? この意見についてあなたの考えを200～400字で述べなさい。そして、教材は「2&3スミノニアン原爆展論争」「きのこ雲の下で何が起きていたのか」「広島、長崎への原爆投下は?」(2015米ビューリサーチセンター)など、ウェブサイトの紹介があった。日本の教材だけでなく、海外発信の教材も知っておくべきだと阿部氏は言う。角度を変えて見た批判的な考え方もオーストラリアでは求められるので、はい、ごもっとも。

学習活動形態としては、まずは「①情報を収集する」。世論調査、オバマ大統領広島訪問、スミノニアン原爆展論争などについて、読む、観る、聴く…。そして「②読んで得た情報を統合し、自分で考える」。これが大切。そして、グループか少人数で「③意見、考えを交換、共有、主張する」。そして「④学習成果を形にする」。ディスカッションだけでなく、自分で書く。このような流れが理想的だろう。「教師が一方向的に教えるだけの授業は、過去の話、昭和の話」と阿部氏はきっぱり。はい、全くそうでございます、と阿部氏に全面的に賛同してしまう筆者であった。

最後は「6日本語・日本文化を次世代に継承していくために」。まずは、オリンピックが始まって以来の日本競泳チームメダル獲得数の表が見せられた。日本競

泳チームは、1996年のアトランタ・オリンピックではかなりメダルが期待されていたのに、メダルなしの惨敗に終わった。コーチはこの惨敗を真摯に受け止め、選手らが自分の種目のレースに集中しすぎて他の選手のレースのことをあまり見ておらず、選手同士のコミュニケーションがあまりとれていなかったことに注目したそうだ。それからは、精神面を重視して、チームスピリットの形成をしていくというアプローチが取られた。

その後、2000年のシドニー・オリンピックで4個、2004年のアテネで8個、2008年の北京で5個、2012年のロンドンで11個、2016年のリオでは7個のメダルを獲得。チームスピリット精神面の形成がうまく成功したと言えるだろう。

これはCLS(Community Language School)にも言えるのではないかと阿部氏は言う。シドニーには多くの日本語学校があり、いまは各学校がそれぞれにやりたいことをやっているという感じである。だが、学校が違っても、目指すゴールは似たようなもの。共有できることはして、同じゴールに向かって進む。チームスピリットを持って、日本の競泳チームのように、お互いに切磋琢磨していいのでは。さすが、阿部先生、全くその通り!と思わず拍手したくなってしまった。

そして、質疑応答の時間のあと、あっという間に教員研修終了の時間となってしまった。とても興味深く勉強になったので、今年予定されている教員研修がいまから楽しみである。

(記: JCS日本語学校シティ校教員 マーン薫)

Travel Centre International

→→→ 格安航空券 取扱い中! →→→
 ※弊社では、別途発券手数料は頂いておりません。

弊社で「国際線航空券」をご購入頂いた方は、
海外旅行保険を20%割引致します!

→日帰りツアー/国内旅行
 シドニーの他、ケアンズやメルボルンのツアーもあります。

→TCI オリジナルツアー
 ブルーマウンテンや土ボタル、ハンターバレー、空港送迎等の専用車手配も承っております。

→JR Pass 取扱い中

Suite 602 Level 6
 309 Pitt Street Sydney NSW
Tel 02-9267-7751
 Email: tci.travel@bigpond.com
<http://www.tcisvdney.com/>

お気軽にお問合せ下さい!





佐藤至子(日本大学文理学部)
ysato@chs.nihon-u.ac.jp

第82回 東京で伝統芸能を見る

「東京で日本の伝統芸能を見てみたい」と考えている人には、歌舞伎、落語、文楽(人形浄瑠璃)のいずれかに行ってみることをお勧めしたい。

まず文楽。東京では毎月公演があるわけではなく、劇場も国立劇場(小劇場)にほぼ限られるが、三味線の音色と太夫の語り、人形の繊細な動きには、ひとことでは言いあらわせない魅力がある。ことばが不安という人には、イヤホンガイドもある。

次に落語。上野・浅草・池袋・新宿などに、ほぼ常に興行している寄席がある。町の見物のついでに立ち寄るといふ楽しみ方もできる。昼席の始まりはだいたい12時ごろ、夜席の始まりはだいたい17時ごろ(寄席によって異なる)。昼夜入れ替えなしという寄席もある。チケットは基本的に当日券のみ。ひとりの演者の持ち時間はトリ(最後に出る演者)を除けば15分くらいであることが多い。夜席は、はじめはあまりお客がいないように見えても、終わるころには混んでいる場合もある。仕事帰りの人が聴きに來るからである。

ちなみに、寄席の出演者が全員、落語をしゃべるわけではない。手品・曲芸・漫才などの芸人も出演する。特に太神楽の曲芸は、信じられないようなすごい技を見せてくれる。

最後に歌舞伎。銀座にある歌舞伎座では、一年中、公演がおこなわれている。通常は昼の部と夜の部の二部制だが、ときどき三部制の月もある。

歌舞伎はとにかく美しく豪華である。細かい筋立てがよくわからなくても、役者を見ているだけで楽しい、というところがある。今年のお正月は歌舞伎座だけでなく、国立劇場(大劇場)、新橋演舞場、浅草公会堂でも歌舞伎が上演されていた。歌舞伎ファンにとっては、いつ・どこに行くか迷う月だったと思う。

今はインターネット上でさまざまな情報が手に入る。伝統芸能の映像も、端末の画面で見えることはできるだろう。だが、実際に劇場や寄席に行き、客席に身をおいて舞台を見ることは、録画された映像を見るのとは違う経験をもたらしてくれる。そこには、役者や演者と観客が共有する「生きた時間」がある。舞台の上の芸は一瞬で消えていくが、それは、その日・そこにいる観客のために演じられたものなのだ。

MOSAIC日本語カルチャー教室

お知らせ

ウィロビーカウンスル運営のマルチカルチャーセンターMOSAICでは、日本語でのカルチャー教室が開かれています。(地域外の方でも参加できます。)スケジュールは下記の通りです。



- 毎週水曜日(2:30~4:30)
惚け防止の頭や体の体操、タイチー24式&48式
(参加費\$3)
- 奇数月第三水曜日(10:30~1:00)
日本料理教室(材料費\$12 要予約)
- 奇数月第三水曜日(1:00~2:00)
カウンスルからのインフォメーションセミナー
(日本語通訳付き)
- 偶数月第三水曜日(1:45~2:30)
瞑想

■お問合せ先

日本ソーシャルグループ(Japanese Social Group)
担当:千鶴子 Phone:0435-557-375
Email:chizsydney@gmail.com

MOSAIC(住所:12 Brown Street, Chatswood)
担当:サン・ヘ・キム Phone:9777-4979

JTI DISCOUNT
日本食販売

JCS会員様 特別ご優待 お買物合計金額より**15%割引!!**
必ずお会計の前にJCS会員の旨をお知らせ下さい
【期間中の営業時間:10AM-5PM】

2017年2月13日(月)~18日(土)

陶器全品20%OFF SALE開催

【取り扱いブランド】 有田焼・たち吉・三峰・双田窯・小田陶器等

J-Top Trade Australia Pty. Ltd. Unit 3, 26-32 Kent Rd, Mascot NSW 2020
Ph: 02-9317-2500 / Fax: 02-9669-1988 / Email: order@jtt.com.au
営業時間: 月-土 10AM-5PM / オンラインショッピング: www.jtt.com.au
駐車スペースあり (詳しくはWEBサイトをご覧ください)

【第8回】

声を出すって気持ちいい！

声と、笑顔と、音楽と

JCS会員の皆さん、こんにちは。QP☆HoneyのQP、ボイスエンターテイナーの加藤久恵です。しばらく活動休止していたQP☆Honeyですが、2017年3月から活動再開予定です。今年もどうぞよろしくお願いたします。

今回はQP以外の私の活動をご紹介しますと思います。先ほどボイスエンターテイナーと書きました。シドニーで「声」のエンターテイナーを名乗っているのは私だけではないかと思えます。私はシドニーに来る直前まで日本でアナウンサー・ナレーター・声優の仕事をしており、現在はシドニーでボイストレーナーをしています。私自身、声を使って表現することが大好きで、日本にいた頃からボイスドラマを制作してラジオ番組で流したり、ドラマCDの販売をしたりしてきました。シドニーでも時々、受講生と一緒にボイスドラマを制作していますが、去年は私自身がボイスエンターテイナーとして、パペットを使った腹話術ショーや腹話術を交えたリポート動画を制作し、ソーシャルメディアや動画サイトで発信し始めました。

私の「声」へのこだわりは、アニメ好きだった子供時代から始まります。お目当てのテレビアニメを、当時はビデオデッキがなかったため、テレビの前にカセットデッキを置いて録音していました。それを何度も聴いているうちに、声の演技の魅力に取りつかれます。当時から引っ込み思案だったけれど歌や演技といった表現が大好きだった私は、姿を見せない「声優」という仕事に興味を持ち始めました。以来、声を変えてセリフを言う練習をし、弟や友達を巻き込んでマンガの本を声に出して読む、声優ごっこに興じたわけです。

アナウンサーとなってからは、ラジオDJやナレーション、ニュースリーダーやリポーターなど、たくさんの経験をしました。個人的には顔を出すテレビやイベントの司会より、断然ラジオDJやナレーション、声優の仕事が好きでした。声だからこその表現法は幅広く、声が心や身体、人の印象までに大きな影響を与えることにも気が付きました。

ボイストレーニングの受講生の多くが、声や話し方に何らかの悩みを持っています。人前で歌ったり話したりすることに極度の恐怖を抱える人、それがゆえに自分自身をうまく出せない、人とのコミュニケーションがうまく取れず悩んでいる人も少なくありません。

レッスンを通して感じたことは、みんな本当は「声」を出したいのだということでした。声を出して、自分自身を表現したいという欲求が潜在的にあるのです。なぜかという、声は呼吸と同じでありエネルギーでもあるので、声を出すと気持ちが良いわけです。スピリチュアルな表現になりますが、大声を出すと波動エネルギーが高くなるといわれます。良い波動は良いことを引き寄せる。であれば、思うように自分の声が出せたら良いですね。それが、うまく出

●加藤久恵プロフィール

2003年来豪。日本では富山・石川を中心にフリーアナウンサーとして8年の経歴を持つ。現在はローカルのチャイルドケアセンターで働きながら、ボイストレーナー、シンガーとして活動中。(タイトル画像左が筆者)



第1回ボイスフェスティバルの集合写真

せないのはなぜか。

それは声にまつわるコンプレックスが制限となっていて、人前で恥をかいた、緊張して頭が真っ白になってしまった、子どものころから言いたいことが言えなかった経験、うまくやらなくては、というプレッシャー。自分の声が好きになれなくて…という劣等感もあるでしょう。それら「声」にまつわる過去の経験やコンプレックスが、いざ話そうとすると骨の周りの筋肉に無意識の緊張を走らせ、声の響きを抑制してしまうのです。だからノドを使って無理やり声を出そうとしてしまうのです。それでは本来の力が発揮できません。赤ちゃんの頃は遠慮なく泣いていた私たち。小さな体であんなに大きな声が出るのですから、なんとか声のコンプレックスを解消して、本来の大きく響く声で、自身を表現してもらいたいです。

コンプレックスの克服は「自信」を持つことだと思っています。では、どうやったら自信が持てるか。それは小さな成功体験を積むこと。声の悩みは声を出すことでしか解消しません。私のボイストレーニングでは、声を磨くだけではなく、歌や朗読、スピーチや声優劇を通して自己表現・自己の解放をしてもらいます。実際、ボイストレーニングを受けて人生が大きく変わった受講生がいます。彼は最初、消え入りそうな小さな声で人前でうまく話せずモジモジした印象がありましたが、今では立派に一人舞台上でパフォーマンスができるまでになりました。

昨年より、「ボイスフェスティバル」なるステージ発表会のプロデュースを始めました。舞台経験のない人や、発表のチャンスがない人が、歌や朗読、スピーチといった「声」のパフォーマンスを通して自己表現をするのです。本番を終えた参加者の晴れやかな表情を見て、やっぱり声を出すと気持ちが良いのだと確信しています。ボイスフェスティバルは今後も定期的に開催していきますので、興味のある方はぜひご参加ください。ステージ発表を通して、新しい自分に出会えるかもしれませんよ。



ひなっち

みなさんこんにちは。いかがお過ごしですか？「JCSだより」にデビューしたのがちょうど5年前の2012年1・2月合併号。もう5年も経つのか…。今回は「祝・5周年記念特大号」としてお送りします！（ウソ。いつもと何ら変わりません）

しかし早いもので、ついこの間新年を迎えたと思っていたら、今年も残すところあと11カ月弱。歳を取るとともに時間の経過が速くなるとはよく言ったもので、そうこうしているうちに2月があっという間に終わり、Daylight Savingが終わってイースターになって（中略）、Grand Finalに熱くなってクリスマスツリーを飾る時期になって、そしてあっという間に2017年が終わってHarbour Bridgeの花火をTV鑑賞するのでしょうか。

さて、ここ何回かは引っ越し後のドタバタ劇の描写が続いてますが、よくよく考えてみるとこのコーナーのタイトルは「オーストラリアで家を建てよう」なんですよね。これからここ豪州で家を新築しようと考えている方のお役に立てれば…という想いに軸足を置いて綴ってきましたが、ちょっとズレてきてますね。いいんですかね？ コーナー上ではすでに家を建てる工程は完了してるけど、編集サイドは内容について特に何もコメントしてきてないから、いいんでしょうね。

それでは本題、引っ越し後のドタバタ第3弾！

前はIHクッキングヒーターが予定通りに設置されない顛末でしたが、今回はレンジフードについて振り返ってみましょう。そう、換気扇ね。

事の始まりは誤配達から。

気が付かないうちにいつの間にかガレージ内にデッカい段ボール箱がいくつも届けられていた。その中のひとつはレンジフードだってことは分かったけど、希望した商品とは異なるベツモノっぽい。モノが大きいから、見間違えるはずないと思うんだけど。

ドアのないガレ-



ジに放置されるキッチン家電の類。誰かに盗られたらどーすんのか？

配達時に不在じゃなければ「コレ、違うよ」って指摘してその場で持ち帰ってもらえたのに、受領サインもないままドンと商品置いて帰っちゃうから困るよなー。

「ちゃんと指定した商品を送れやコラッ！」とBuilder窓口となっているSite Managerを叱責すると、オプション家電担当らしいねーちゃんから折り返し電話がかかってきた。

「ご希望の品番はただ今在庫切れになっており、欧州本社に問い合わせたところ、次回の豪州向け出荷はいつになるか分からないとのこと。つきましては、現在豪州にストックがある品番から選んでください。The Good Guysで取り扱いがあるので、現物はそでご確認ください。ただし、どこの店舗で展示されてるかはお自身で調べてくださいネ」と、しゃあしゃあと言ってきた。

どんでん返し。

数カ月前に受注したモノを誰かさんに売ったってことかいな？ どーゆー在庫管理してるんだよ。

それに、現品展示店舗を自分で調べろだと？ テメーらの手違いが元凶なのに、「私たちの仕事はここまで、あとは勝手にやってくださいな」みたいな姿勢が非常に気に食わない。

そもそも、俺らの希望している品番、本当に手に入らないの？

すると数日後、担当Site Managerから、一本の電話が。

「その後調査した結果、希望されているレンジフードの在庫がPerthの倉庫にひとつあることが分かりました！ ただいま豪州唯一の在庫をしっかりとキープしております！ あなたたちはとてもラッキー！」

どんでん返し再び。

そして思った、お前らは阿呆か、と。

在庫が本当はないのかどうか徹底調査して、どうしても見つからなかったら代替品を提示する、ってのがモノゴトの順番だろが！ ホント、どーゆー仕事のやり方してるんだか、ってか、テキトーにやってるの、バレバレ。

こんなことは「オーストラリアあるある」のひとつにすぎないのしょうけど、被害者目線から見ればやっぱり許せない。

続きは次回…

メラリと光る

あの人・この人

【第63回】

ホジュキンソン 恭子(きょうこ)さん

ライフラインクライシスサポーター
ショアハイスクール日本語口語教師
hodg podg creation主宰

今回ご紹介するホジュキンソン恭子さんは、筆者とはかれこれ10年以上の友人付き合いになる。恭子さんはいつも明るく元気で「ポジティブオーラ」が出ている。一緒にいるとエネルギーをもらって、元気になれるのだ。「竹を割ったような」性格で、ぼんぼんと歯に衣を着せぬ言い方が気持ちいい。恭子さんの魅力はそれだけではない。とにかく、いろいろな分野に才能を持っていて、それでいて、おしゃれできれいで才女ときている。「天は二物(にぶつ)を与えず」というが、恭子さんを見てみると、「いや～天は二物を与えてるぞ～」と思ってしまうのである。

高校3年生の1年間をアメリカで過ごした恭子さんは、京都の短大(同時通訳コース専攻)を卒業後、初の仕事が国際線フライトアテンダントで香港に2年在住。その後オーストラリアに移住しかれこれ30年以上の海外在住者となる。

海外ウェディングのマーケティング、翻訳、リサーチなど様々な仕事を経て、1999年には、hodg podg creationを立ち上げてご自身のセラミックビジネスを開業。同じ時期にハイスクールで日本語口語教師として働き始めた。セラミックビジネスと口語教師の仕事は16年以上の経験を持つ。2004年度にはJCS日本語学校シティ校の代表も務めていた。

恭子さんは40代になってから、Transpersonal CoachingのDiplomaを取得。現在はライフラインでクライシスサポーターの仕事もしている。ライフラインは全国に約40の拠点をもち24時間態勢で危機支援をしている。自殺防止サポーターが、人生に絶望し生きる目的や意思を見失ってしまった人、人間関係の問題を抱える人など、様々な人たちから年間約100万件の電話相談を受けているのだ。この仕事をしたきっかけについて恭子さんはこう語る。

「何かの形でこの国に貢献したいと思ったのがき

っかけです。移民にとっても寛容なオーストラリアで、数十年お世話になり、子ども二人も成長し、恩恵を与えられて大変有り難いと常日頃思っていました。以前は日本語学校などでもお手伝いをさせていただいたのですが日系だけでは物足りなくなっただけです。



(笑)オーストラリア全体に対して何らかをしたいという気持ちが強くなったんです。何かお手伝いできる場所はないかと模索してライフラインに行き着いたわけなんです。仕事はともやりのいいがあります。様々な相談を受ける中で、人間の在り方、その人それぞれの人生を垣間見るんです。この仕事を通じて命の大切さ、そして成長過程の大切さ、家族の愛情の大切さがわかりました。毎日感謝の気持ちが強くなりましたね。この仕事をして一番嬉しいのは相談者から「You saved my life」と言われることです。これで一人の命が今は助かったと思え、次の相談者への私自身の活力となります。ライフラインや様々な分野で活躍する仲間には大変刺激を受けています」。

「hearing」(聞く)と「listening」(聴く)は全く違うのだと恭子さんは言う。「hearing」は、音として耳に入ってくるだけで、「listening」は、それプラス相手のことを理解しようとする。コミュニケーションで大切なのはこのlistening。相手の見解を尊重し、その上で自分の意見を相手に伝える、お互いの意見が交互し受け入れられる安心感を持って初めてオープンな人間関係が成り立つ。恭子さんはそれを大切にしているという。「特に子どもとのコミュニケーションを大切にしたい。子どもには自己肯定感を持って育ててほしい。子どもたちがやっていることを親や大人が認めてあげることが大切だと思う」。

恭子さんは今でも二足、三足のわらじを履き、HSC日本語対策委員会の役員としてボランティア活動もしている。わらじは四足、五足でも足りないかもしれない。

将来の展望を聞いたところ、「今まで十分自分のしたいことをしてきたので今後も自分に正直に生きていだけ」とあっさり。「人生は5年毎にリセットして見直すようにしています。そうすることでなんとなく生きるのではなく軌道修正して将来のビジョンを実現するのが楽しい」。さすが、恭子さん。言うことがデカイ！

恭子さんへのお問い合わせは、メールでhodgpodg01@me.comまで。また、誰にも相談できなくて悩んでいる方は、以下に連絡を。Lifeline 131114、<https://www.lifeline.org.au/>

(記:マーン薫)



あの頃のシドニー



「あの頃のシドニー」と題して、シドニーに暮らしはじめた頃を振り返るコラムです。昔のシドニーを思い出し、海外生活の苦勞話や楽しかったこと、驚いたことなど、読者のみなさんと共有したいと思います。

第8回は2000年にカナダから来豪された本誌編集長の渡部重信さんです。

第8回 2000年シドニーオリンピックに来豪

2000年の8月に思いもよらないご縁を得てこのシドニーに住みはじめて以来、16年と5か月という年月があつという間に経ってしまった。それまでカナダでの生活の中で南半球のシドニーで暮らすということは、全く予想もしていなかったことだったので、この町のこともよく調べずにやって来たこと、夏からいきなり冬という環境に来たこともあって燻んだ印象があり、なかなか馴染めなかった。ただ、オペラハウスだけは知っていたので到着した日にハーバーブリッジを渡る際に見えた時は感動したことを覚えている。

オリンピックのせいだったのか1豪ドルが60円台でこんなものかと思っていたらそのうちどんどん円安となり、日本円で給与を受け取っていた生活の不安を覚えるほどになった。物価が物凄く高い所だということが身に沁みて分かった。

初めてシドニーに降り立った自分を運んでくれたアンセット航空はその翌年姿を消した。シドニーオリンピックの公式スポンサーも務めた航空会社の突然の倒産の報に大変驚いたことを今も覚えている。コードシェアしていたANAも撤退を余儀なくされ、ANAハーバーグランドホテルもシャングリラホテルとなった。まさに諸行無常の世界であった。仏教聖典をシドニー市内のホテルの各部屋に聖書と共に配備すべく各ホテルの担当者に連絡していた中で、ANAホテルのみから「既に設置してあります」との返事を聞き喜んでいただけの間だった。その後ご存知のようにANAが2015年12月に再就航を果たしたのは嬉しい知らせだった。

シドニー五輪ではQちゃんこと高橋尚子選手が女子マラソンで見事優勝したが、その女子マラソンの日、スタート地点のSt Leonard's公園が事務所の近くだったので応援に行ったことだけが直接のオリンピック

との接点であった。スタート前の練習風景を見ていて日の丸をつけた何人かの日本人ランナーを見つけたが、その中でどの選手が彼女だったのか知る由もなく、スタートを見送った後、昼のニュースで日本女子陸上で初のオリンピック金メダルを勝ち取ったということを知り、高橋尚子選手の存在を初めて知った。自身50代に入り走り始めるようになったが、この時の経験ももしかして縁となっているのではと思っている。



後になって知ったが、オリンピックの開催期間中、大変なプレッシャーがかかっている選手たちを精神面でサポートする諸宗教のチャプレンボランティアが存在していたとのことで、もう少し早くオーストラリアに来ていたら登録できたのだと残念に思ったことでした。

オーストラリアにやって来て初めて知ったことの中に、カウラの大脱走事件があった。こんなに悲しい歴史が日豪間にあったのだということに驚くと共に、戦後ずっと墓守をして下さっているカウラの人々の優しさに深く心を打たれた最初

の訪問だった。8月にやって来てすぐその翌月がカウラ桜祭りでのお勤めということで、急いでその歴史を調べ、お参りの日に備えた。普通に日本に暮らしていたら一生知らないままで終わったことを、カナダの日系移民が辿った道同様、実際にそうした歴史の真実の部分に触れることができたことは、自分にとってかけがえのない財産となったと思っている。日豪間は和解の時代を終え、お互いを尊重し合う時代に入って久しいと感じているが、今後も様々な出会いを通じて得た経験を元に、両国の関係を更に深めるその一助ができればと思っている。合掌

(渡部記)

写真上:高橋尚子(毎日新聞「五輪ヒストリー 2000シドニー 高橋尚子マラソン女子初制覇」から)
写真下:ANSETT航空の機体(シドニー空港)

世界モダン建築巡礼 81

Jun Sakaguchi (Architect)

Gardens by the Bay

by Grant Associates

Gardens by the Bayはシンガポール都心に隣接する101ヘクタールの敷地を持つ広大なパーク。三つの公園から構成され、そこには植物園、子どものガーデン、フラワーマーケット、イベントスペース、温室などがある。

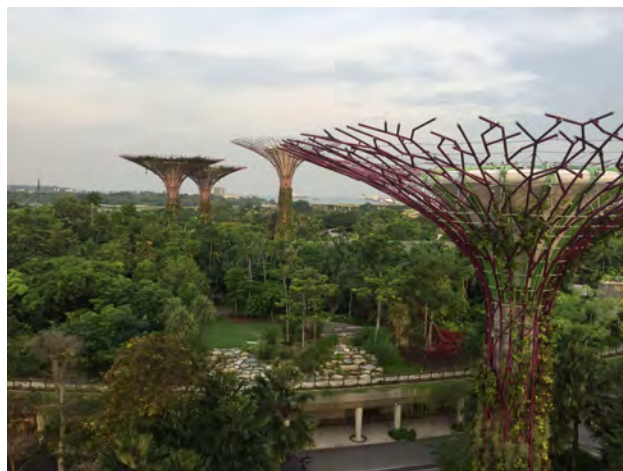
その中でも特に目を引くのが、Supertree Grove。25mから50mの高さを持つ人工の木が18本、パークに広がる。

その構造はスチールのチューブでピンクにペイントされ、本物の木のように空に枝を広げている。そのスチールの構造に各種のツタやランといった熱帯の植物が絡まり、人工物によって自然を表現するような装置となっている。

実際にこのSupertreeにはソーラーパネルが設置され、これが夜間の照明に使われることで光合成の機能を表現し、また雨水が集められて植物に給水されることも木が実際に育っていくシステムを表現したものとなっている。

Supertreeは中に階段やエレベーターがあり、上まで行けるとともにいくつかはブリッジでつながられ、空中の散歩ができる。

このパークはシンガポール政府がCity in a Gardenというコンセプトを実現すべくつくりあげたもの



で、2006年の国際コンペを経てGrant Associatesや、シドニーのBarangarooのカジノタワーを手掛けるWilinson Eyre Architectsなどによってデザインされた。シンガポールの優れた政策は各方面で魅力的な施設を作り出し、インターナショナルハブとして大きく成功してきているといえる。

* * *

「世界モダン建築巡礼」は約8年にわたって連載を続けてきましたが、今回で最終回となります。少しでも世界の素晴らしい建築の紹介に役立てられたことを望みます。





NSW州立美術館 Time, Light, Japan展

1990年代から現在に至る、“時”と“光”を探る日本のアート、ビデオ、写真、サウンド、インスタレーション作品に浸り、体験する

「Flowers and people - Gold 2015」は、日本の創作集団、チーム・ラボによる8枚パネルのデジタル・アート作品。当美術館にごく最近購入されたメジャー作品で、このTime, Light, Japan展で初めて公開されます。



teamLab / Flowers and People - Gold 2015
Art Gallery of New South Wales © teamLab, courtesy Martin Browne Contemporary, Sydney. Photo: AGNSW

金箔に描かれた花の屏風の印象を与えつつ、増幅した光と鮮やかな色彩によって特徴的で、それは、光を捕まえるというより、光を發し、放っているようです。観覧者と作品の間の距離に反応して、金箔の花吹雪がパネル全体に広がり、鮮やかな花が咲き開いては消えていき、花卉が散らばっては、再び蕾が膨らんでいく。この双方向に反応する作品は、リアルタイム・コンピューターのアルゴリズム(演算法)とセンサーを使って制作されており、すべてのものの無常とはかなさを表現し、二度と同じではありません。

この作品を中心に現在注目されている日本人アーティストの作品を集めたこの展覧会は、4月30日までNSW州立美術館1階のアップー・アジア・ギャラリーにて無料で開催されています。

同時に展示される「Black waves 2016」は、同じくチーム・ラボのデジタル・アート作品。葛飾北斎の有名

な浮世絵、“The great wave”としてよく知られる“神奈川沖浪裏”を偲ばせ、8枚パネル全体に大きな波がうねりぶつかり明るい白い泡となって砕け、またループのように返ってくる波が表現されています。展覧会の入り口に展示されていて、さながら、波が引いて海に返るように、入場する観覧者を展覧会という海の奥へと誘います。

会場の一番奥には、LED作品群で知られる現代アーティスト、宮島達男の作品で、永久に数え続ける「Region no 126701 - 127000 1991」が展示されています。これは、12メートルもあるインスタレーションで、300の発光ダイオードパネルでできていて、決まったリズムで1から99までの数字を表すようプログラムされている作品。人間が生まれ、死に、そして再生する、仏教の輪廻転生の思想を現代のテクノロジーを用いて表現した、NSW州立美術館のコレクションで最も知られる現代アート作品の一つです。



Miyajima Tatsuo / Region no 126701 - 127000 1991
Art Gallery of New South Wales Purchased 1995 © Tatsuo Miyajima. Photo: AGNSW

右側の壁には、昨年購入された森村泰昌の「ラスメニーナスは夜蘇る2013」がいっぱい展示されています。スペインのプラド美術館で撮影された8枚の壮麗な写真シリーズ。あの有名な1656年に描かれたベラスケスの作品、“ラスメニーナス”から再現されたイメージで、森村自身が、ベラスケスも含め、すべての役になりきっています。



Morimura Yasumasa / Las meninas reborn in the night V: drawn by a distant light, awoken to the darkness from the series Las meninas reborn in the night I-VIII 2013, printed 2016
Art Gallery of New South Wales © Yasumasa Morimura. Photo: AGNSW

他にも、オーストラリアのパブリックアートを手がけ、50代で亡くなった彫刻家、牧川明生の日本庭園の静謐な感覚をイメージさせる、ブロンズとオニキスによるインスタレーション作品「Garden of desire V 1995」、その他の展示があり、現代日本人アーティストの作品に浸れるまたとない展覧会となっています。

この機会に旬の現代日本アートを感じに是非NSW州立美術館に足をお運び下さい。

鴨粕弘美 (NSW州立美術館コミュニティー・アンバサダー)

映画 CINEMA

Fantastic Beasts and Where to Find Them (邦題: ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅)

監督: デヴィッド・イエーツ
 脚本: JKローリング
 出演: エディ・レッドメイン、キャサリン・ウォーターストーン、ダン・フォグラウ他
 対象鑑賞者: PG-13
 おすすめ度: ★★★★★☆



『ハリー・ポッター』シリーズでhogwarts魔法学校の教科書として登場する、“幻の動物とその生息地”の編者、ニュート・スカマンダーを主人公にしたファンタジー。ハリー・ポッターの1作目から約70年前、1926年前のアメリカが舞台となる。原作者J.K. ローリングが初めて映画の脚本を手がけ、魔法動物学者の冒険のドラマが展開される。アカデミー賞俳優エディ・レッドメイをはじめ、主役も脇役もいい役者がそろっている。年齢問わず楽しめるファンタジー作品で、劇中に登場する“魔法動物”が大きな人気を集めている。

書籍 BOOKS

あたりまえだけどなかなかできない時間のルール

著者: 野間健司
 発行: 2012年 明日香出版社
 おすすめ度: ★★★★★



「時間がない」は言い訳だ！忙しいビジネスパーソンが時間管理術について書かれた本。著者は、企業のモチベーションアップやリーダーシップを専門とする研修講師。時間とは感情。楽しい時間は時間が過ぎるのも忘れ、集中して目の前の物事に取り組める。時間管理において大切なのは、今この瞬間を充実した感情で過ごすこと。時間管理とは感情の管理だ。時間は「質」だ。終わらない消耗仕事、想定外のハプニング、そのスケジュール、詰め込みすぎていませんか？人生を「時間に追われる人生から追いかける人生に」したい人の必読書。

音楽 MUSIC

Nobody but me

アーティスト: Michael Buble
 おすすめ度: ★★★★★☆



その深みのあるヴォーカルが世界的に人気を呼び、グラミー賞を含む各種の賞を取ってきているカナダ出身のシンガーソングライター Michael Buble。彼の9作目のアルバムがこのNobody but me。彼の共作による3つの新曲に加え、ポピュラーのカバーソングを含む。カバーはいつものスタンダードの名曲を忠実に再現したものであり、クリスマスシーズンにちょうどいいアルバム内容となっている。今作はビルボードで2位を記録し、がんと診断された息子のためにも好調な売れ行きとなった。オーストラリアのARIAでも2位を記録、日本でも評価は高い。最後のGod Only Knowsはそんな彼の心境を表現するような深い曲だ。全体としてはいつもの彼のアルバムに共通するクオリティだといえるが、オリジナリティが少し低いといえる。

鑑賞 DVD

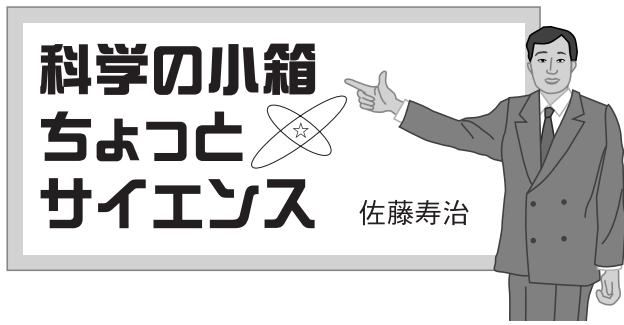
ツナグ

監督: 平川雄一朗
 製作指揮: 城朋子
 出演: 松坂桃李、樹木希林、佐藤隆太、他
 おすすめ度: ★★★★★



一生に一度だけ、死者との再会を叶えてくれるという「ツナグ(使者)」。ツナグの仲介のもと再会した生者と死者。それぞれの想いを抱えた一夜は、何をもたらすのだろうか。直木賞作家、辻村深月(みづき)同名小説の映画化。「ツナグ」という職業を通じて、他人の人生に深くかかわっていく男子高校生の葛藤と成長を描く。歩美(あゆみ)は、祖母アイ子からツナグを引き継ぐ見習いとして、死者との再会を望むさまざまな人と出会っていく。が、死者との再会が救いになるのか、人生は変わるのか、次第に自身の行為に疑問を抱くようになる。人生とは？家族とは？感動を呼ぶ、泣ける映画。原作も秀作なので、ぜひ読んでほしい。

●このコーナーに皆さんからの投稿をお寄せください。映画・音楽・本・DVDなど、感動した作品や、是非、皆さんに紹介したい作品…など、読者の皆様からの投稿をお待ちしています。(メールあて先: hbma@optusnet.com.au)



【第167回】 Scientific Tips for 2017

新しい年が開け、年頭から各分野で新しい動きが始動しうかうかしていると、後続する奔流に押し流されきちんと向き合う前に一年が過ぎて行きかねません。まず身近で注目したい重要な動きが、すっかり生活に溶け込み必須となっているインターネットの一層の広がり。「IoT(アイ・オー・ティー)」と呼ばれる生活に関連する大半の「物」を、インターネットで繋いでしまおうという「Internet of Things」の地球規模での拡大です。既にPCにスマホそして車、更に各種ICカードから家庭電化製品等々、世界総人口の数倍に達する膨大な数の物がインターネットに連結しています。ところが何処でも居乍らにして世界と瞬時に繋がり得る開かれた便利さは、油断をすると外部からプライバシーに踏み込まれる危険と表裏をなしています。卑近な実例としてIoTへのハッキングで、昨年11月に実施されたアメリカ大統領選挙の結果が左右されたとも言われています。早急に自動運転車の窃盗や発電所の運転停止等、社会インフラへの攻撃を想定し対策をお忘れなく。

次に取上げるのは「Artificial Intelligence(AI=人工知能)」で、学習能力に於いても人間の最高領域に向け加速度を増すのは間違いありません。知的ボードゲームの中でAIが苦戦していた囲碁に対し、昨年韓国のトッププロの一人に挑み5番勝負を終に3-1で勝利しました。その勢いを駆り今年中に日本の七大タ

イトルを殆ど独占するプロ棋士に、正に頂上決戦を臨むとのことで如何なる名勝負を展開し、どちらが妙手を繰り出し勝利するか楽しみです。ロボット界でもAIの学習能力の向上で、産業用ロボットが部品から製品まで極少数の注文生産をこなせます。他方二足歩行する人型ロボットも、スマートな会話もこなすニューフェイスがぞくぞく登場する気配で、この分野の第一人者である大阪大学石黒浩教授は「一月も一緒に暮らせば、アンドロイド(人類似ロボット)を愛せるようになる」と語っています。愛が育まれるとなれば人とアンドロイドとの婚姻を如何扱うか、大きな社会問題に成る事も十分に考えられ、合意形成を早期に始める必要があるでしょう。

第3のティップは、生活に密接に関るお金に関する興味深くも、ある種怖いブラックボックス化した金融手法について。近年金融業界において「Fintech」と呼ばれ、語源となったfinanceとtechnologyの二語からも明らかなように、これまでの金融方式にITを掛け合わせた新しいサービスです。「アップル・ペイメント」なる、スマホを翳すだけで簡単に済む支払方法もその一つで、これに「ビットコイン」に代表されるインターネット商業圏で流通する仮想通貨が加わると、手数料が馬鹿にならないクレジットカードが終末を迎えるのも間違いありません。金融機関の新しい流れであるFintechは、重要業務である送金及び決済の一層の簡素効率化と共に、金融商品の開発も重要な任務となっています。中でも「デリバティブ」は、Fintechが基礎とするITにAIも駆使し、債権や証券を原資に生み出された多様な商品群です。それを可能にする専門職が「Quants」と呼ばれる、統計学や数学そして物理学に精通したスタッフで、ビッグデータの統計的分析及び偏微分方程式等の複雑な計算式を組み合わせた理論を用い、資産の増大を目論む新しい商品の開発に取り組んでいます。2017年は、IoTのAIそしてFintechにしっかり取り組まれんことを。



わたしピアノにハマってます

子供達がレッスンを止めたのをきっかけにピアノを習い始めてから、早くも10年以上経ちました。初めの頃は、子供達がレッスンを再開することがあればまた同じ先生に習わせたいと軽い気持ちで始めたのですが、

習ってみると思いのほか楽しく、少しずつ色々な曲が弾けるようになってきました。数年前からは AMEB (Australian Music Examinations Board) の Grade のテストを受け始め、それ以降、俄然練習にも力が入り、さらに熱心に取り組むようになりました。私の受けているのは Piano for leisure というカテゴリーのテストで、課題曲(3曲)はクラシックだけでなくポップスや映画音楽、ジャズの曲等も含まれます。また、テストでは音楽理論に関する質問も少し出ます。級が上がると質問内

容も難しくなり、試験前の付け焼刃的な勉強では間に合わなくなってきました。それと同時に楽譜をもっとよく理解したいという気持ちが強くなってきました。

そこで昨年からは音楽理論のクラスに通い始めました。テストのために勉強しているわけではないものの、目標があると頑張れる性格なので、こちらも AMEB の Musicianship のテストを受けることにしました。学科の理解が少しずつ進んでくると、今度はもっと音楽を体感したいと思うようになり、友達が参加しているコーラスに行ってみました。ところが、ピアノはキーを押せば正しい音が出るのに、声は思ったように出ないので、がっかりです!

子供の頃はあんなにピアノが嫌いだったのに、人間変われば変わるものです。ピアノを始めたことにより、今まで知らなかった世界が広がり、人生が豊かになった気がしています。(ひまわり)

新連載

試してみよう マクロビオティックの健康レシピ 食へ物を変えると、体も心も変わる

池田恵子
soramame

第73回 ロースト・ビートルートと豆腐フェタのサラダ

暑い夏は終わったけれど、まだ汗ばむ日もあるこんな時期には、体を冷やし過ぎず、温め過ぎない火を通した野菜とさっぱり豆腐フェタのサラダがぴったり。外国独特のあのカチカチに硬い豆腐も、下ごしらえを工夫するだけで、フェタチーズのような味わいに。水切りしなくていいので簡単です♪ 豆腐フェタはフライパンで焼くとハロミチーズのようになるので、是非お試しください。



◎サラダ

【材料】4～5人分

準備	ビートルート	1個(くし形に切る)
	オリーブオイル	適宜
	シーソルト	少々
	葉野菜	適宜
	クルミ	5-6個(粗く砕き、軽く炒る)
	レモン汁	適宜
	豆腐フェタ	350g(1cm角に切る)

【作り方】

- ①ボウルに準備の材料を入れて混ぜ、グリル用のトレイに並べて、5～6分焼く
- ②皿に葉野菜を敷き、ローストしたビートルート、豆腐フェタを重ねてレモン汁を絞ってクルミを散らす

◎豆腐フェタ

【材料】

ハード豆腐 350g
(1cmの厚さに切ってペーパータオルで水気を拭き、

両面に強めに塩をして30分おき、1cmの角切りに)
オリーブオイル 大さじ1
タイム 適宜
ガーリック 1片(適当に切る)
レモンピール 1/4個分程度
シーソルト 少々

【作り方】

- ①全ての材料を混ぜ合わせ、1時間置く

マクロビオティックって？

マドンナやハリウッドスターたちが実践している食事法ということで有名になったマクロビオティック。実はこれ、大正時代に日本で発祥した「食養生」「正食法」のことです。穀物を中心とした菜食をする、食物を丸ごと食べる、住んでる土地で採れたものを食べる、動物性の食を避ける、白い砂糖を避ける、そうしているうちに自然と心も体も健康になる。そんなシンプルで簡単な方法です。気軽にできるマクロビオティックのヒントがいっぱい。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

→ www.soramame.com.au

THE BOLD NEW

CIVIC

新型 CIVIC ついにオーストラリア上陸！

詳しくは日本語でお気軽にお問い合わせ下さい。 japandesk@scottsgroup.com.au

Scotts Honda
291 Pacific Highway, Artarmon
~ Scottshonda.com.au
~ (02) 9431 2333

HornsbyHonda
160 Pacific Highway, Hornsby
~ Hornsbyhonda.com.au
~ (02) 9472 2100



仏教語からできた 日本語 その134



渡部重信
hbma@optusnet.com.au
浄土真宗本願寺派〔西本願寺〕
オーストラリア開教事務所長

冥福(めいふく)

葬儀の弔辞や弔電で、「ご冥福をお祈りいたします」という表現が使われることがありますが、この冥福とはつまり「人が亡くなった後の世界での幸せ」という意味で使われていると一般に受け止められています。死後の世界を指す「冥」とは冥界のことを言っていて、冥土、或は、冥途とも言われます。仏教辞典によると、冥界とは、「死後の幽冥の世界を言う。六道(地獄、餓鬼、畜生、阿修羅、人、天)の中の三悪道(地獄、餓鬼、畜生)、特に地獄道に通ずる」とあります。『十王経』という中国で作られた偽経によって、中国から日本に鎌倉時代以降広まった俗信における死後の世界のことを言っています。

昔は地獄絵図を子供に見せて「嘘をつくと、閻魔さまに舌を抜かれるぞ!」と諭したのですが、閻魔とはこの冥界の王であり、閻魔王の前で亡き者の生前の善悪の業(行為)の全てが鏡に映し出され、その罪の裁きを受けることとなっています。「嘘をつく舌を抜かれる」というのも、その裁きの一つとして示されています。「地獄の沙汰も金次第」などとも言われますが、お祭しの通り、閻魔王への賄賂を意味しています。

ともかくも、冥福と言った場合の死後とは、亡き者のさまよい行く所であり、地獄道に通じる世界なのです。従いまして、それは望ましい世界ではありません。望ましくない迷いの世界に死者を送り出してそこの幸せを祈るといふ行為は如何なものかと思ってしまう。

「冥福を祈る」とは、死後の幸せを祈るということであり、多くの方が使っているということで、何となく耳障りの良い丁寧な言葉のように聞こえますが、死者に対する敬意を欠いた言葉ではないかと思っています。その世界から救い出すために追善供養をする、という言い方をする人がいるかも知れませんが、それが本当に役に立つのかは全く保証があるわけでもありません。それよりも、元々、死者を望ましくない迷いの世界に送り出さなければそんな必要は無いのです。この冥界は仏教の教えとは無関係な俗信であることを思えば、真の仏教徒は「冥福を祈る」という言葉は使うべきではないと言えます。

この世でのご縁が尽きると同時に阿弥陀佛の浄土・極楽に生まれさせて頂くと日頃から聞かせて頂いている浄土真宗としましては、悲しい席では「深く哀悼の意を表させていただきます。心よりお悔やみ申し上げます」という表現を使い、この世で愛しい人を亡くした方のそばに寄り添って一緒に悲しみ、その方の悲しみを和らげることができるようという気持ちを表すよう務めています。 合掌

法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 123



主任弁護士 林由紀夫(H & H Lawyers)

Q: 半年ほど前、旅行代理店の「特別セール」で、日本往復チケット\$500×2人分合計\$1,000と、大変安く購入できました。しかし先月になって急に、夫が仕事の都合で日本に行けなくなってしまい、夫の代わりに、姉と一緒にしようという話になりました。チケットの名義を夫から姉に変更するため旅行代理店に電話したところ、「契約書の条項に従い、名義変更代\$150及び、特別セール価格と現在のチケット価格の差額\$650、合計\$800を払って下さい。キャンセルする場合は最初に払った\$500は返金されません」と言われました。もともと\$500で買ったチケットなのに、名義変更\$800もかかるなんて!こんなひどい契約だとは知りませんでした。何度も交渉したのですが、頑として聞く耳を持ってくれません。どうにか\$800を支払わずに名義を変更する方法はありませんか?

A: まず確認が必要なのは、旅行代理店との契約の中に、代理店が主張する名義変更代及び、キャンセルに関する条項が明確に含まれているのか否かです。もし、そのような条件が含まれていたとしても、あなたはそれを知らずにチケットを購入したということですね。その場合でも、消費者保護法(Australian Consumer Law)第23条により、「この高額な名義変更料の支払い条項は“アンフェア”だから無効だ。もっと安くすべきだ」と訴えることは可能です。しかし、問題となっている条項が、法律上“アンフェア”であるか否かという点については、大いに議論の余地のあるところでしょう。

裁判所は、問題となっている契約条項が“アンフェア”であるか否かを判断するために、(a)契約条項が消費者にとって、どれほど理解し易い(し難い)ように書かれていたか、(b)契約全体の中で見た場合、その条項は本当にアンフェアか、という2点を重視します(24(1)条)。

(a)は、例えば、当該条項が契約書に、読めないくらい小さな文字で書かれていたり、わざと難解な専門用語を使うことで一般消費者には理解できないような条項を書いていた場合が「アンフェアな条項」となり得ます。

(b)については、確かに、「\$500のチケットの名義変更\$800支払う」という条項だけを取って見ると、アンフェアであるように見えます。しかしこの条項を契約全体の中で見ると、飛行機のチケットはその時々の残席数等により値段が大きく変動する商品であること、またこの「特別セール」のチケットはそもそも、本来の値段より大幅に値引きされており、その代わりにこうした名義変更等に制限が設けられていると判断されるため、「アンフェアな契約ではない」という過去の判例があります。(Jetstar Airways v Free [2008] VSC 539)。

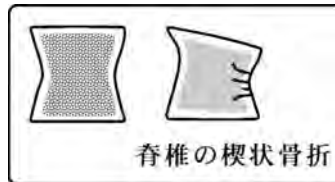
暮らしの医療

骨粗鬆症と関節炎

ドクター・鳥居 / Northbridge Family Clinic

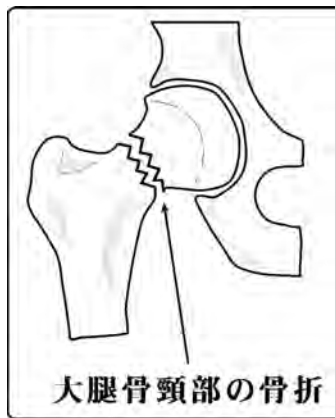
骨粗鬆症とは骨塩量(あるいは骨密度)が減少し、骨がもろくなって折れやすくなる状態のことをいいます。成長とともに骨塩量は20歳前後から30歳頃までのピークに達するまで増え続けます。そして40代まではピークが保たれ、その後は徐々に骨塩量は減っていきます。特に女性の場合は閉経とともに女性ホルモンの分泌が少なくなり、急激に骨塩量は減ります。骨粗鬆症の場合、骨がもろくなっているだけで骨折がおこりやすい状態になっているだけです。骨粗鬆症そのものからおこる痛みなどの症状はありません。もし骨折がおこってしまえば痛みがおこります。

最も骨折がおこりやすいのは脊椎と大腿骨頸部ですが、脊椎の場合、ほとんど痛みがないこともよくあります。身長が年齢とともに低くなって、レントゲンをとったときにはじめて気づくこともあります。



(右図参照)

関節炎には骨関節炎(Osteoarthritis)とリウマチ性関節炎(Rheumatoid arthritis)があります。骨関節炎は変形性関節炎ともいい、人口の高齢化とともに増加していく問題のひとつです。



手と荷重関節(weight-bearing joint、例えば膝、股関節、脊椎など)におこりやすい疾患です。白色人種と比較するとアジア系人種には股関節の骨関節炎の発生率は低く、しかし手と膝に関しては同等です。女性対男性の比は4:1です。

関節は骨と骨の継ぎ目の部分ですが、骨と骨が直接ふれあわないように軟骨でカバーされ、クッションの役目をはたしています。体重によって負担の大きい関節や指の関節をよく使うような職業の人はこの軟骨の消耗が早く、変形性関節炎がおこりやすくなります。軟骨がなくなり、骨と骨が直接こすれ合っているとそのストレスから微小骨折(micro-fracture)がおこり、炎症反応がおこります。関節炎からくる痛みは炎症細胞から放出される媒介物質によっておこります。

骨関節炎の症状

* 関節の痛み

最も顕著な症状です。関節を動かしたり体重をかけると痛みます。突然痛みがひどくなって数日から数週間続くこともあります。また、夜間に痛みが誇張されたり、寒かったり湿った気候のときにひどくなることもあります。関節のまわりの軟組織に圧痛が感じられます。

* 関節の変形

関節に水が溜まり、腫れることもあります。関節の屈曲もおこります。手の場合、遠位指節関節(Heberden's nodes)と近位指節関節(Bouchard's nodes)のまわりに骨片ができ、こりこりとした膨らみが感じられることもあります。

* 関節可動域

骨関節炎がすすみ、変形が著しくなるとともに関節の可動域が縮小してきます。また、特に膝などは関節を動かしたときに捻髪音がでることもあります。

* 関節の硬直

リウマチ性関節炎ほどに朝の関節の強張りは顕著ではありませんが、しばらく関節を動かさなかったあとは硬直があります。

骨粗鬆症も骨関節炎もどちらも高齢者によくおこる疾患ですが、骨粗鬆症の場合、骨折が起こっていない限り痛みはおこりません。もちろん、両疾患が同時に進行していることはよくあります。骨関節炎の場合、痛みだけではなく、上記のような症状もおこっているかもしれません。

検査

骨粗鬆症の検査はBone mineral density(BMD)という検査で骨密度を測ります。70歳以上の患者さん、あるいは軽度の怪我による骨折が過去10年間におこったことがある人は、骨密度の検査費はMedicareでカバーされます。

骨関節炎の場合はレントゲンで典型的な変化が見られます。軟骨の消耗によって関節の骨と骨のあいだのスペースが狭くなっていたり、関節周囲の骨の硬化、それに骨棘(骨性の突出または隆起)などがレントゲンでよく見られる変化です。



今月の喜怒哀楽<哀>

とかく世の中は不公平である。末端で仕事をしている、就職難で苦しむワーキングホリデーメーカーや留学生に対し、法律で定められている最低賃金が支払われていないケースによく直面する。また、457ビザ保有者が永住権の申請をしてもらうという雇用者に対する負い目のため、どれだけOvertimeを働いても残業代を請求できないという場合もある。如何なる理由があろうとも、法律で定められている賃金を支払わないのは違法である。正当な賃金を支払わない雇用主は、私に言わせると、問題の先送りをしているに過ぎない。何故ならば、ワーキングホリデーメーカーが職を離

れる際に、また、457従業員が永住権を取得した際に、未払いの給料、残業代、Superannuation Contributionを請求するケースがしばしばあるからである。きちんとした記録が取られている場合には、雇用主はそのような請求があった場合、言い逃れはできない。まさに、「やったらやり返される」の世界である。(YH)

編集後記

▼日本で久しぶりにスキーを楽しんできた。それほど上手くはないにしろ、まあまあ滑れると色々なコースに行けてそれなりに楽しいものである。しかし歳のせいなのか(?)3日目ともなるとかなり足の踏ん張りが効かなくなってきてヒヤッとする場面もあり、何度か転ぶ場面が出てきたところで終了。スノボ人口が増えている現実を垣間見、自分も挑戦したいという気持ちも盛り上がってきたので是非今度はトライしたいと思いつつ白銀の世界を後にした。40度を超えるシドニーに到着し体に変調を来し暫くは何もやる気が起こらない日々が続いたが、気温の降下と共にやっと動けるようになってきた。体あつての物種、これからも体力を保つことが出来るよう運動を続けながら次の機会に備えることとしたい。(S)

シドニー日本クラブ2015/16 & 2016/17年度役員一覧

役職	氏名	担当/専門委員会	携帯電話	E-mail
名誉会長	竹若 敬三	在シドニー日本国総領事	-	-
相談役	Chalker 和子		0404-043-393	kazukoch9@gmail.com
相談役	水野 亮三		0422-853-456	roymizuno@hotmail.com
会長	水越 有史郎	教育支援委員会代表	0412-283-393	miz@jams.tv
副会長	渡部 重信	事務局・編集委員会編集長	0412-396-014	hbma@optusnet.com.au
副会長	平野 由紀子	行事・レインボープロジェクト	0414-758-295	yukikosal@yahoo.co.jp
理事	多田 将祐	行事	0404-187-579	kenerit@gmail.com
理事	川上 正和	行事	0433-655-616	makka@k2-inter.com
理事	Joannes えみ	行事	0434-002-432	ejoannes@optusnet.com.au
専門理事	林 さゆり	親睦の会会長	0412-019-878	shayashi@global-promotions.com.au
専門理事	Fraser 悦子	コミュニティーネット	0408-643-420	etsuko@mediaetsuko.com
専門理事	Costello 久恵	City校代表	0421-504-867	jcs.daihyo@hotmail.com
専門理事	Kujundzija 里美	Dundas校代表	0411-734-819	jcs-jpschdundas@live.com
専門理事	水越 有史郎	Edgecliff校代表(兼任)	0412-283-393	jcs.edgecliff@gmail.com
事務局長	藤田 結花	会計・事務局	0420-692-559	account@japanclubofsydney.org
監事	岩佐 いずみ	会計監査	0431-023-148	izuminsydney@gmail.com
監事	Richter 幸子	会計監査	0414-667-438	richjms5@bigpond.com

JCS傘下グループ・団体	代表・担当者	携帯電話	Email
親睦の会	林 さゆり	0412-019-878	shayashi@global-promotions.com.au
コミュニティーネット	Lincoln 瑞枝	0449-581-683	mizue44@hotmail.com
シドニーソーラン踊り隊	水越 有史郎	0412-283-393	miz@jams.tv
ソフトボール部	加藤 雅彦	0402-011-198	ckato@nmpa.com.au
レインボープロジェクト	平野 由紀子	0414-758-295	yukikosal@yahoo.co.jp
編集委員会	渡部 重信	0412-396-014	hbma@optusnet.com.au

エーブルネット

Suite 30, Level 17, 327 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: 02-9264-9601

Email: info3@able.net.au WEB:able.net.au

①SIMだけ\$9プラン(スマホ持ち込みの方におススメ)
国内通話は最安の\$0.17/30と、\$10で約30分間通話可能。しかもSMS50回/毎月無料、データ500MB付。

②アンリミテッド\$39プラン(国内通話が多い方におススメ)
国内通話/SMSは無制限、データ500MB付。データ容量だけ増やし、毎月自分に合ったプランにアレンジ可能。
特典:7カ月以上の契約でデータ申請手数料\$15無料

NBCA PTY LTD

Suite 602, Level 6, 309 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 8068-5363

担当:人材(加藤)、ビザ(山口)、留学(山口)

Email: info@nbca.com.au www.nbca.com.au

ビザ申請及び人材紹介費用につきましては、JCS会員のみ通常の料金から10%の割引にさせていただきます。留学につきましては、JCS会員のみ通常料金から特別割引させていただきます。(学校によりこのサービスの対象にならないものもございます。)

甘利鳥居会計事務所

Suite 1003 Level 10, 84 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02)9223-7448

E-mail: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターンの申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。

同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

プラネットヘア(日本人美容室)

Level 2, 61 Market Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9267-4881

JCS会員の方は平日15%Off、土日は10%Offになります。また、平日2時までには2人以上でご来店の場合20%Off(カットは15%Off)

日本の器具、商品を使用していますので、安心してご来店ください。特に白髪染めは植物100%のヘナを使用し、パーマは髪のコシがない方には十仁パーマをお勧めします。詳しくはwww.planethair.com.au/jp/をご覧ください。

ほんだらけ フル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool St, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

13,000冊の日本のコミックと、日本から毎週届く最新雑誌各種が読み放題!息抜きに、お待ち合わせまでの空き時間に、お子様の日本語のお勉強にも…。

シティの真ん中の癒し空間、ほんだらけマンガ喫茶スペース「FOBラウンジ」を是非ご利用ください!こちらのJCSクーポンをご持参いただくと、30分無料でご利用いただけます。(1枚につき大人1名+子供2名まで利用可)

Rumiko's Creation ROCOMI Beauty Circle

Mobile: 0402-178-519

お肌の敵、乾燥や紫外線…みなさん、毎日のスキンケアはどうしていますか?

きれいで健康なお肌は、健やかな毎日の“ビタミン美”…和漢植物エキス配合の薬用化粧品をぜひお試しください。店頭では手に入らない日本からの直輸入品です。

★JCS会員特典:初回ご購入の際に、ご購入合計金額より5%割引。さらに洗顔時の必需品、ソープネットをプレゼント!お気軽にご連絡下さい。

JTTディスカウント日本食販売

Phone: (02) 9317-2500

Fax: (02) 9669-1988

Email: info@jtt.com.au www.jtt.com.au

お申し込みの際に「JCS会員」と明記ください。会員の方は5%割引とさせていただきます。

\$200以上のお買い物の場合は無料配達サービスを行っています。(※配達可能地区、曜日はホームページまたはお電話にてご確認ください。)

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au

www.soramame.com.au

Mobile: 0402-961-907

そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様\$10割引をいたしますので、お申し込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

ケイナインリトリート by クラウドキャッチャー

276 Deepfields Road, Catherine Field NSW 2557

Phone: (02) 9606-5486

Email: sydney.ccatchers@gmail.com

シティからもノースからも1時間以内で行ける豪華なペットホテル。空調完備、素晴らしいエクササイズヤード、日本人のスタッフがいます。JCSの会員には、3泊以上の場合、1泊分の割引。デイケアもOK。

滞在中に、トレーニングもできます。メールは日本語での対応可能。お電話番号をいただければこちらから日本語で折り返します。

<豪州発>東京海上日動の旅行保険

Phone: 02 9225 7599 / 02 9225 7506 (日本語)

Email: travelservice@world2cover.com.au

JHD@tokiomarine.com.au (日本語)

【お見積り・お申込み】www.world2cover.com.au
豪州発の旅行保険「World2Cover」をお申込みの方に5%割引。オンライン申込時に、JCS会員用割引コード「JCS5」をご入力ください(有効期限:2017年12月31日まで。他の割引と併用不可)。日本への里帰りにもご利用いただけます。世界中で多くのお客様から支持されている東京海上日動火災ならではの「安心と安全」を、オーストラリア在住の皆様にお届けします。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
 PO Box 1690, Chatswood NSW 2057、電話：0421-776-052(9時～18時)
 Email:jcs@japanclubofsydney.org(渡部重信)まで。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、編集長の渡部重信 (Email: hbma@optusnet.com.au)
 または、JCS事務局宛にEmailか郵送にてお送りください。

入会案内

入会をご希望の方は入会申込書に必要事項を記入のうえ、入会金と年会費を添えてJCS事務局までご返送ください。入会申込書はサイトからダウンロードできます。

- ①入会申込書に、入会金 \$33 と年会費 \$70 (+ 発送費 \$10) の合計金額の小切手かマネーオーダーを添えて、事務局までご送付下さい。現金は受け付けておりません。海外会員・法人会員の場合は入会金なし、年会費 \$110 (GST 含む) です。
- ②ボランティアによる運営のため、事務処理に多少時間がかかる場合があります。会報「JCSだより」(月刊)の送付まで最高2ヵ月を目処として下さい。
- ③住所・家族構成に変更があった場合は、会報送付の宛名用紙の「登録事項変更届」に記入のうえ、事務局までお送り下さい。
- ④入会金・年会費は変更される場合があります。

If you want to join the JCS, please fill in the application form and send it with an appropriate cheque to: Japan Club of Sydney PO Box 1690, Chatswood NSW 2057. If you have any queries, please call on 0421-776-052.

- (1) Please fill out the form & send it to the address above with a cheque or money order for the joining fee \$33, the annual membership fee \$70 plus Postage \$10, total \$113 (inc.GST). DO NOT send cash. For overseas members or corporate members there is no joining fee but the annual membership fee is \$110.00 (inc.GST).
- (2) The Club is run by volunteers, who will process your application. Please note that it could take up to 2 months before you receive our monthly newsletter for the first time.
- (3) Should there be any change in your address etc, please let us know without delay c/- the above address.
- (4) Please note that both the admission fee & the annual fee of the Club are subject to change without prior notice.

JCSだより広告案内と申込書

広告締切は毎月15日です。広告(完全版下)と小切手(前払い)を、PO Box 1690, Chatswood NSW 2057までお送りください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6～11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横17cm×縦25.5cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1 / 2 ページ	横17cm×縦12.5cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1 / 3 ページ	横17cm×縦8.2cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1 / 6 ページ	横8.2cm×縦8.2cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)
折り込みチラシ	A 4 サイズ以内	\$ 440.00	\$ 330.00	※非会員の継続掲載にも、継続掲載割引あり。	

「JCSだより」では皆様からの広告を募集しています。本誌は会員に直接送付されますので、格安な料金で浸透力のある広告効果が得られます。お申し込みの際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、掲載する完全な広告原稿(サイズを守り、読みやすくはっきりと仕上がったアートワーク)を、小切手(宛名は、Japan Club of Sydney)と共に事務局宛(PO Box 1690, Chatswood NSW 2057)お送りください。全額前払いをお願いしています。締切は毎月15日必着です。

※折り込みチラシは、A4サイズ以内で印刷されたものを、部数分ご用意ください。(現在の部数は約400部です)

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

● J C S だより広告申込書 ●

広告スペース 1 ページ 1 / 2 1 / 3 1 / 6 折り込みチラシ

料 金 \$ _____ (\$ _____ × _____ 回)

期 間 20__年__月号のみ 20__年__月号～20__年__月号まで__回

会社名 _____ 担当者 _____

住 所 _____

電 話 _____ FAX _____ Email _____